

平成24年度実施 協働事業

協働事業審査会 公開プレゼンテーション

会 場 ひらつか市民活動センター

開催日 平成23年10月8日(土)

目 次

公開プレゼンテーション スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

市民提案型協働事業 事業提案書

悪徳商法バスターズの養成と啓発活動・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

朗読による平和推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6

スポーツごみ拾い・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10

デジカメとパソコンで楽しもう講座・・・・・・・・・・・・・・・・ P 14

高麗山公園ハイキングコース等植生調査事業・・・・・・・・ P 19

みんなですすめる花いっぱい街づくり・・・・・・・・ P 23

国際理解授業(多言語でのコミュニケーション)・・・・・・・・ P 27

雅楽公演(鑑賞会・体験学習)・・・・・・・・ P 31

市民活動団体間の連携強化と活動拠点の機能強化・・・・・・・・ P 35

小学生向け財政パンフレット作成・・・・・・・・ P 40

「地域猫」への取り組み・・・・・・・・ P 44

一般家庭での生ごみ自家処理推進事業・・・・・・・・ P 49

里地里山の保全活動による地域環境再生と共生社会の確立・・ P 53

地域防災力の向上へ向けた支援事業の実施・・・・・・・・ P 58

行政提案型協働事業 事業提案書

応急手当普及・啓発事業(救命・応急手当講習会の実施)・・・ P 64

平成24年度実施協働事業 公開プレゼンテーションスケジュール

開催日：平成23年10月8日（土）

会場：ひらつか市民活動センター

時間	内容
13:00	<p>開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働事業審査会委員長あいさつ ・協働事業審査会委員紹介 ・事務局説明（スケジュールと発表の方法など）
13:10	<p>1. 市民提案型協働事業プレゼンテーション</p> <p>新規事業の提案団体プレゼン（5分） 質疑応答（3分）</p> <p>悪徳商法バスターズの養成と啓発活動 朗読による平和推進事業 スポーツごみ拾い デジカメとパソコンで楽しもう講座 高麗山公園ハイキングコース等植生調査事業 みんなですすめる花いっぱい街づくり 国際理解授業（多言語でのコミュニケーション） 雅楽公演（鑑賞会・体験学習）</p>
14:20	<p>休憩</p>
14:30	<p>継続事業の提案団体プレゼン（4分） 質疑応答（3分）</p> <p>市民活動団体間の連携強化と活動拠点の機能強化 小学生向け財政パンフレット作成 「地域猫」への取り組み 一般家庭での生ごみ自家処理推進事業 里地里山の保全活動による地域環境再生と共生社会の確立 地域防災力の向上へ向けた支援事業の実施</p>
15:20	<p>2. 行政提案型協働事業プレゼンテーション</p> <p>担当課説明（1分程度） 提案団体プレゼン（5分） 質疑応答（3分）</p> <p>応急手当普及・啓発事業（救命・応急手当講習会の実施）</p>
15:30	<p>休憩</p>
15:40	<p>3. 再質問タイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう一度、確認したい事項等があれば、それについて質疑応答 ・事業内容や経費などについての助言や意見等 <p>4. 事務連絡</p>
16:00	<p>閉会予定</p>

平成24年度「事業」提案書

	行政提案型 新規・継続
	市民提案型 新規 ・継続

(宛先)
平塚市長

団体名 悪徳商法バスターズ推進委員会

所在地 平塚市

代表者 武井 敦司

事業担当課 市民情報・相談課

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	悪徳商法バスターズの養成と啓発活動	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	<p>平塚でも悪徳商法に引っかかり、払わなくても良いお金を払ってしまうケースや、高利回りの口車に乗り大金を出してしまふケース、リフォームのトラブル、金融商品の理解の進まない中での販売など様々な消費者トラブルが発生しています。</p> <p>また、警察の取締りの対照になりました「振り込めさぎ」も相変わらず多くの被害者を出しています。</p> <p>私たちのまちから、これらの被害を撲滅するために、「悪徳商法バスターズ」の要員育成し地域見守り隊として配置していきます。</p>	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	悪徳商法バスターズの認定証を市から与えることにより、本人の自覚はもとより、地域の各団体の信頼を得て、地域の見守り活動が推進できる。
	メリット	(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) 悪徳商法バスターズが出来ることの周知により、外部からの悪徳業者の侵入を防ぐと共に、高齢者の見守りも一緒に出来る。
		(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 行政と一緒に実施することで、地域の協議会と連携することに対し信頼を得ることが出来る。
		(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 悪徳商法バスターズが地域コミュニティに出来ることで、市内へ進入してくる悪徳業者をバスターズと消費生活相談員の連携により、市民の被害を減少させることが出来る。

<p>事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<p>まず、地域包括センター単位に2名ずつ20名の悪徳商法バスターズを養成すると共に、公民館や中・高校で、悪徳商法の手口などの啓発活動を実施し、契約の大切さを認識してもらう。</p>
<p>事業概要・計画 スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p>4~5月 カリキュラムの作成 企画 2h×4人×4日 5~ 出会いサイト等の紙芝居作成(2作品) 20h×1名×2作品 5~6月「悪徳商法バスターズ養成講座」 募集人員 20名 研修時間 1回2時間 × 6回 運営 2h×4人×4日 1. 消費者を守る法律の基礎知識〔弁護士会〕講師料 40,000円 2. 消費者トラブルの解決方法 (消費生活相談員) 15,000円 3. 架空請求・振り込めさぎの実態(神奈川県警) 15,000円 4. 金融トラブルの実態 (ファイナンシャルプランナー) 25,000円 5. 権利を守る関連知識(成年後見制度と権利擁護)〔行政書士〕 25,000円 6. どのようにまちを守るか(ワークショップ) 15,000円 8月~翌年3月 運営委員会(8,10,12,2月)お茶菓子 15000円</p>
<p>役割分担 協働事業は役割分担が重要です。団体の役割、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体) 講座の企画、資料印刷 公民館、地域包括センター、学校等での啓発活動、絵本の製作</p> <p>(行政) 講師選任への助言、啓発ツールの貸し出し 公民館・学校等への根回し助言、被害状況の情報提供</p>
<p>他の団体との連携 この事業に関し、他団体等と実績や予定があれば記入。</p>	<p>1. ひらつか市民活動連絡協議会 2. リスク・ファイナンシャル・サポート研究会 3. 日本損害保険代理業協会 平塚支部 4. 手作り紙芝居の会 5. ひまわりの会 6. シニアライフサポートセンター 7. 神奈川県消費生活相談員ネットワーク 8. 平塚警察署少年補導員連絡協議会</p> <p>社会福祉協議会もパートナーとして活動の視野に入れます。</p>
<p>成果目標 (目標値) 成果目標を記入してください。数値で表せる場合は目標値を記入してください。</p>	<p>1. 悪徳商法バスターズの要員養成 20名程度 2. 悪徳商法バスターズメンバーの成果(消費生活センターとつなぐ) 1人1件以上(初年度)定例会と成果報告。 3. 消費者保護基本条例制定への提言活動 (成果目標値:)</p>
<p>関連法令等 事業実施に関連した法令等があれば記入してください。</p>	<p>1. 消費者契約法 2. 特定商取引法 3. 民法 ご不明の場合は、事業担当課へご確認ください。</p>
<p>事業実施以降の方向性</p>	<p>1. 次年度以降も双方で実施(提案型協働事業 提案型以外) 2. 団体が単独で実施 3. 行政が単独で実施 4. 事業は今年度のみ予定 5. その他()</p>

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) アクトシヨウホクバスターズ スイシイソウカイ		
	悪徳商法バスターズ推進委員会		
所在地・ ホームページ	所在地 平塚市 ホームページアドレス http://		
連絡担当者 及び連絡先	担当者 武井 敦司 (役職 代表) 住所 平塚市		
設立年月	2011年 05月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 =人 (うち平塚市民.....人) 団体 = 7 団体		
活動内容・ 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談員ネットワーク：消費生活センターに勤務し、業務遂行のために、県内の仲間と勉強会等を開き背さ琢磨している。 シニアライフサポートセンター：成年後見制度や、エンディングノートなどの助言活動を行っている。 リスクファイナンシャルサポート研究会：損害保険を中心にファイナンシャルプランの相談を行う。 手作り紙芝居の会：平塚独自のテーマを紙芝居にしている。 		
協働事業 との関わり	新たな事業	今までの活動の拡大	今までの活動と同規模
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	代表	武井 敦司	行政書士 成年後見制度担当
	副代表	横田 裕	F P 損害保険担当
	メンバー	鈴木 恵子	手作り紙芝居
	メンバー	寺崎 秀夫	クレサラ対策
	メンバー	安藤 広	地域見守り企画
	メンバー	小倉 滋朗	サーバーガード

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	372,240	円
市の支出	357,240	円
団体の支出（他の収入等）	15,000	円

収入

金額単位：円

項 目	予算額	内 容
市の支出	C 357,240	
団体の支出	15,000	
事業収入		
収入合計	A 372,240	

支出

項 目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
講師謝礼	135,000	135,000	講師謝礼（弁護士 1 名 × 40,000、司法書士・専門家 4 名 × 25,000、相談員 1 名 × 15,000）
人件費	99,200	99,200	<<企画・準備>> 養成講座 @800 × 2h × 4 人 × 4 日 推進委員会 @800 × 2h × 4 人 × 4 日 紙芝居 @800 × 3h × 4 人 × 2 日 <<開催準備・運営>> 養成講座 @800 × 2h × 6 日 推進委員会 @800 × 2h × 4 人 × 4 回
紙芝居・寸劇制作費	40,000	40,000	紙芝居 @1000 × 20h × 1 人 × 2 作品
食糧費	15,000		推進委員会（お茶、お菓子）講師お茶代（団体負担）
事務用品	4,600	4,600	コピー用紙 A4 @400 × 10 模造紙 @100 × 6 枚
印刷費	11,000	11,000	資料作成 @110 × 10 枚 × 10 回
通信費	8,000	8,000	メンバー通信費 @80 × 20 名 × 5 回
旅費・交通費	4,440	4,440	調査 @2220 × 2 人 × 1 回
備品	55,000	55,000	腕章及び認定証（50 人分）
支出合計	B 372,240	D 357,240	

注）収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注）他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は 3 月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成 23 年 9 月 30 日

平成 24 年度「事業」提案書

	行政提案型	新規・継続
○	市民提案型	新規 ・継続

(宛先)
平塚市長

団 体 名 朗読「糸の会」

所 在 地 平塚市

代 表 者 永井美代子

事業担当課 行政総務課・教育委員会指導室

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	朗読による平和推進事業「声に出す平和への祈り」	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	<p>目的：歴史の記録・戦争体験記・戦争に関する文学作品や物語などを声に出すことにより、平和と命の大切さ、戦争の悲惨さを平塚市民に語り継いでいくことを目的とする、</p> <p>必要性：戦争により多くの貴い命が失われたこと、空襲により平塚も大きな打撃を受けたことなどが時代と共に風化されないためには、継続的に、目に耳に届けていくことが必要である。朗読や音楽という受け入れやすい方法で、過去を辿り、再び戦争がおこらないように啓発することができる。</p>	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	協働することで、市は糸の会と協働することによって朗読という新たな手段で平和を訴えることができる。そしてその事業の主旨を被爆ピアノ・音楽演奏を通じて効果的にわかりやすく市民に発信することが出来る。
	メリット	(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) ・朗読と演奏にふれることにより戦争の悲惨さを知り、平和の大切さを再認識し平和と向かい合うきっかけにすることができる。 ・青少年は戦争の体験記・朗読を聴くことにより歴史を深く認識し平和の大切さを学ぶことが出来る。
		(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) ・大きな事業に取り組むためにメンバーではなしえない取り組みが出来る。 ・青少年に事業の主旨を伝えるにあたり学校関係の活動の場の提供を受けられる。
		(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) ・市は、糸の会と協働する事により、糸の会の使命感(平和と命の大切さを朗読で伝えるということ)と朗読の専門性を活用することにより、平和を願う市民の共感を得ることができる。

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) ロウドクイトノカイ 朗読「糸の会」		
所在地・ ホームページ	所在地 平塚市 ホームページアドレス http://		
連絡担当者 及び連絡先	担当者 永井美代子 (役職 代表) 住所 平塚市		
設立年月	2007年 10月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 14人 (うち平塚市民 12人) 団体 = 団体		
活動内容・ 活動実績	毎月2回さまざまな分野の作品の朗読、語り等を、講師加藤敬子(ヒロコ)先生(元テレビ朝日アナウンサー『語りと語りの会』主宰)に指導を受けながら勉強し、研鑽し、以下のような社会活動に役立っている。 ・市内外小学校、図書館、公民館での読み聞かせボランティア ・東海大学病院小児科病棟読み聞かせボランティア ・大磯保健センター乳幼児向けサークル「パンダ」での読み聞かせボランティア ・市外(伊勢原市)視覚障害者向けの朗読テープ作成ボランティア 主な活動実績 ・2009年より毎年朗読会を実施(今年は7月1日実施)中央フェスタへ朗読で参加。 ・2010年10月より依頼を受け老人施設での朗読ボランティアを開始。 ・2010年7月平和推進事業「声に出す平和への祈り」を市ファンド助成を受け実施。 ・2011年2月、図書ボランティアの拡大交流会(大野地区)で平和をテーマに朗読。		
協働事業 との関わり	新たな事業 今までの活動の拡大 今までの活動と同規模		
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	代表	永井美代子	事業総括
	副代表	野口桂子	事業の運営の総括・渉外
		小山照子	事業の運営(企画)
	会計	染谷洋子	事業の運営(会計)

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	820,500 円
市の支出	775,500 円
団体の支出（他の収入等）	45,000 円

収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 775,500	謝金 63万/ 会場費 60,500/ 印刷紙代 59,000 交通費 11,000/ 人件費 1万/ 著作権料 5千
団体の支出	45,000	通信費 1万・食糧費 2万5千・交通費 1万
事業収入	0	
収入合計	A 820,500	

支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
謝金	630,000	630,000	45万 講演者 32万（被爆ピアノ貸し出し 10万・ 運送費 15万・調律費 2万・搬出入費用 2万・講演 料 1万・宿泊費 1万×2名） 演奏者 10万、脚本演出指導者 3万 18万 演奏者 5万・脚本演出指導者 1万×3回
会場費	60,500	60,500	ホール使用料 10,500/音響・照明・楽屋等 5万
通信費	10,000	0	通信費 1万（団体支出）
食糧費	25,000	0	講演者・演奏者等昼代/出演者 14名昼代（団体支出）
印刷、紙代	59,000	59,000	チラシ、ポスター、プログラム、シナリオ印刷・紙 5万 プログラム印刷・紙 3千×3校
交通費	21,000	11,000	出演者交通費 500×14名×3回（団体支出 1万）
人件費	10,000	10,000	当日駐車場スタッフ 2名分×4時間程度
著作権料	5,000	5,000	松谷みよ子氏・指田和子氏
支出合計	B 820,500	D 775,500	

注）収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注）他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成23年 10月 7日

平成24年度「事業」提案書

	行政提案型 新規・継続
	市民提案型 新規 ・継続

(宛先)
平塚市長

団 体 名 湘南ベルマーレスポーツクラブ

所 在 地 平塚市

代 表 者 眞壁 潔

事業担当課 スポーツ課

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	スポーツごみ拾い	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	文部科学省が行った「全国体力・運動能力、運動習慣調査」(全国体力テスト)で、子供の体力はピークだった1985年に比べてどの種目も低い結果となり、体力の低下傾向に歯止めがかかっていない実態があきらかになった。運動する子供としない子供の二極化傾向があることも分かった。子どもの体力向上を目的に、運動しない子どもが体を動かすようになるための動機付けとして、グループで制限時間内に拾ったごみの量と質でポイントを競う簡単な競技である「スポーツごみ拾い」を行う。	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	行政の持つ信頼性を背景に円滑な事業の遂行ができ、小・中学校、幼稚園、及び各種媒体の活用でイベントが広く周知される。
	メリット	(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) 学校行事は運動の習慣化に貢献するが、授業時間数の増加や教員数の減少によって、学校の負担は大きい。そこで、地域と連携することで、授業以外での運動を促進することができる。
		(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 行政が会場の管理者との連絡・調整やゴミの処理を担うことで円滑な事業の遂行ができ、小・中学校、幼稚園、及び各種媒体を活用することで、イベントが広く周知される。
		(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 団体の持つ集客力やスポーツ大会、イベント開催のノウハウが活用できる。

<p>事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<p>「スポーツごみ拾い」は、3～5人のグループで制限時間内に拾ったごみの量と質でポイントを競い合う、子どもから大人まで年齢・体力を問わず楽しめる簡単な競技です。この新感覚スポーツにチャレンジしましょう！！</p>
<p>事業概要・計画 スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p>4月 会場の連絡・調整(1～2人) 5月 参加者募集(締め切りは1週間前)(1～2人) 6月 春期大会開催(10人) 募集人数 150名 表彰式の際、スポーツや環境に関する啓発活動を行う。 8月 会場の連絡・調整(1～2人) 9月 参加者の募集(締め切りは1週間前)(1～2人) 10月 秋季大会開催(10人) 募集人数 150名 表彰式の際、スポーツや環境に関する啓発活動を行う。</p>
<p>役割分担 協働事業は役割分担が重要です。団体の役割、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体) 会場の決定、参加者募集、既存のごみ拾い活動事業や活動団体への協力要請、イベントの開催、スポーツや環境に関する啓発活動、ごみの回収</p> <p>(行政) 会場との連絡・調整、既存のごみ拾い活動事業や活動団体への協力要請、教育機関への周知、各種媒体への掲載、ごみの処理</p>
<p>他の団体との連携 この事業に関し、他団体等と実績や予定があれば記入。</p>	<p>リスト株式会社 株式会社クリーンサービス</p>
<p>成果目標(目標値) 成果目標を記入してください。数値で表せる場合は目標値を記入してください。</p>	<p>参加者数 身体を動かす動機付けや環境美化意識の向上に役立ったかを評価するためにアンケート調査を行う。 (成果目標値:各回150名、アンケート回収率50%以上)</p>
<p>関連法令等 事業実施に関連した法令等があれば記入してください。</p>	<p>ご不明の場合は、事業担当課へご確認ください。</p>
<p>事業実施以降の方向性</p>	<p>1. 次年度以降も双方で実施(提案型協働事業 提案型以外) 2. 団体が単独で実施 3. 行政が単独で実施 4. 事業は今年度のみ予定 5. その他()</p>

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) トク化イリカド ヲホジ ショウナンベルマーレスポーツクラブ 特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブ		
所在地・ ホームページ	所在地 平塚市 ホームページアドレス http://www.bellmare.or.jp		
連絡担当者 及び連絡先	担当者 一場 哲宏 (役職 巡回事業マネージャー) 住所 平塚市		
設立年月	平成14年 4月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 1300人 (役員7人うち平塚市民 4人) 団体 = 団体		
活動内容・ 活動実績	(1) 特定非営利活動に係る事業 サッカーを中心としたスポーツ全般の普及に関する事業 サッカーを中心としたスポーツ全般における小学生及び中学生世代の育成に関する事業 スポーツの指導者育成に関する事業 スポーツを通じた健康の増進に関する事業 スポーツ施設等の保有・運営及び管理 人材派遣に関する事業 (2) その他の事業 前号の事業に付随するスポーツ商品の販売		
協働事業 との関わり	新たな事業	今までの活動の拡大	今までの活動と同規模
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	巡回事業 Mgr	一場 哲宏	事業全体の総括
	地域コーディネーター	渡部 亮	事業全体の総括
	巡回事業 サポ Mgr	江原 武仁	運営の総括
	広報	岩井 咲紀	チラシ、ホームページの作成等

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	260,000 円
市の支出	86,000 円
団体の支出（他の収入等）	174,000 円

収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 86,000	
団体の支出	24,000	
協賛金	150,000	リスト株式会社より
収入合計	A 260,000	

支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
謝金（講師）	150,000	0	スポーツ GOMI 拾い連盟（協賛金より）
謝金（有償ボランティア）	15,000	15,000	審判ボランティア 500 円 × 30 人 × 2 回（会員外）
事務用品	21,000	21,000	軍手 50 円 × 300 個 トング（市の備品を使用） ビブス（リスト所有のものを使用） チラシ用紙代 @1,500 円 × 4 冊
報償費	20,000	0	表彰品等記念品
印刷費	50,000	50,000	ポスター等の作成
旅費・交通費	4,000	0	機材を運ぶ自家用車ガソリン代 2,000 円 × 2 回
支出合計	B 260,000	D 86,000	

注）収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注）他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は 3 月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成24年度「事業」提案書

	行政提案型 新規・継続
	市民提案型 新規 ・継続

(宛先)
平塚市長

団体名 NPO法人 ひらつかITサポート

所在地 平塚市

代表者 鈴木敏介

事業担当課 社会教育課(中央公民館)

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容(事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	デジカメとパソコンで楽しもう 講座	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	団塊の世代が定年を迎え、地域参加して頂ける環境作りは大変重要です。そこで団塊の世代や中高年層を中心に親しみのもてる、デジカメ写真を題材にしたパソコン教室を地域の公民館で実施します。即ち「デジカメ写真のパソコンへの取込み法や加工法、その写真をブログに反映する「デジカメとパソコンで楽しもう 講座」を開催します。これにより、講座終了後、参加者が主体となったパソコンサークルの設立、地域における広報活動(「地元密着!!ちいき情報局」等への参加促進等)、地域活動への参加のきっかけづくりや修得内容の活用へ繋がります。	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	当法人のこれまでのパソコンを中心とした地域貢献活動を通じて蓄積したノウハウと、行政の持つ信頼性とインフラの活用で、事業が広く周知されるとともに、住民の地域活動へのサポートを行うことができる。
	メリット	(市民のメリット:市民が受けられるサービスや解決される課題など)地域の公民館で身近なデジタル写真の加工技術や活用技術が学習でき、地域活動に活かせる講習を、教材費のみで安価に受講出来るメリットは大きい。
		(団体のメリット:行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など)協働事業により、地域のコミュニティの拠点である公民館を活動の場として利用可能となり、広報活動を含め、ニーズにそった講習会を開催し、より大きな地域貢献活動をする事が可能となる。
		(市のメリット:団体が持つ専門性やノウハウの活用など)団体は過去のIT講習会等での指導実績、公民館活動や地域活動への理解が深く、技術とノウハウを持っていることから、これらを活かして地域活動へつなげる目的で講座を実施することができる。また、講座終了後の継続した学習や指導へのサポートも可能である。

<p>事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<p>パソコン学習において、デジカメ写真に関する単独の講習会では無く、入口となるパソコンへの取込み、加工、活用から、インターネットを利用したブログでの写真公開まで、大変魅力的な講習のシリーズとなる。</p> <p>これは、これまで当法人の、公民館向けパソコンサークルのサポート内容や、ひらつか市民活動センターとのホームページ/ブログ制作講習会及びPC相談会からニーズを実感しており、目的達成できる有効な企画と考えます。</p>
<p>事業概要・計画</p> <p>スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p>デジカメ写真を題材にしたパソコン講座を地域の公民館で実施します。</p> <p>(A)「3時間、募集10名、講師3名」の講習会を3種類設けシリーズ化します。</p> <p>(1)デジカメ写真の整理と活用(USBで写真をPCに取り込む、写真データの整理、トリミング、カレンダー作成等) (2)オシャレなスライドショーを作成しよう、及び(3)写真をブログで公開しよう、です。</p> <p>(B)このシリーズ化した3つの講習を南、東、北、西ブロック公民館の中の1公民館で、順次開催させて頂く。【例=準備:4月~5月、講習会:南ブロック=6月、東ブロック=8月、北ブロック=10月、西ブロック=12月】(時期は今後検討、調整)</p>
<p>役割分担</p> <p>協働事業は役割分担が重要です。団体の役割、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会設計(テキストを含む)、チラシ原稿、消耗品 ・必要なPCや周辺機器、プロジェクター等の準備 ・講習会の実施と、当日の運営(会場準備、片づけ) ・パソコンサークルへの指導支援、公民館の広報活動PR <p>(行政)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象公民館の選定と講習会会場の確保とインターネット環境の確保 ・チラシ印刷と掲出やHPの掲載等、受講者の募集、受付業務 ・スクリーン(プロジェクター用) ・有線LAN用周辺設備の準備 ・継続学習グループの設立支援、団体や地域の広報活動PR等、地域活動への参加のきっかけづくり及び活用へ繋げるノウハウ(好事例)の提供
<p>他の団体との連携</p> <p>この事業に関し、他団体等と実績や予定があれば記入。</p>	
<p>成果目標(目標値)</p> <p>成果目標を記入してください。数値で表せる場合は目標値を記入してください。</p>	<p>講習会への参加(募集人員)</p> <p>講習会終了後、公民館と協力しての継続学習支援、その他団体活動や地域活動での活用に向けた具体的活動への紹介等を行い、今後の活動へのきっかけ作りを行う。</p> <p>(成果目標値:講習会の応募者数が募集人員数の70%以上=(10人×3コース×4グループ)×70%=84人以上)</p>

<p>関連法令等 事業実施に関連した法令等があれば記入してください。</p>	<p>特になし</p> <p>ご不明の場合は、事業担当課へご確認ください。</p>
<p>事業実施以降の方向性</p>	<p>1．次年度以降も双方で実施（ 提案型協働事業 提案型以外 ）</p> <p>2．団体が単独で実施 3．行政が単独で実施</p> <p>4．事業は今年度のみ予定 ．その他（ 未定 ）</p>

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) ヒラツカ アイティ サポート											
	NPO法人 ひらつかITサポート											
所在地・ ホームページ	所在地 平塚市 ホームページアドレス http://www.scn-net.ne.jp/~it-group/											
連絡担当者 及び連絡先	担当者 鈴木 敏介 (役職 理事長) 住所 平塚市											
設立年月	2001年 12月 (法人格取得年月 2009年01月)											
会員の状況	個人 = 27人 (うち平塚市民 25人) 団体 = 0団体											
活動内容・ 活動実績	<p><活動事業> 本法人では 公民館を中心としたパソコンサークル向けサポート、平塚市内の事業所主催のパソコン教室向けサポート及び ひらつか市民活動センター主催PC無料相談会サポート等を中心に、「やさしく・たのしく・親切に」をモットーに活動しております。</p> <p><活動実績> 上記 ~ の個々のサポート事業の活動実績概略 平成22年度実績</p> <table border="0"> <tr> <td>事業</td> <td>=1533人</td> <td>(約5500人)</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>=105人</td> <td>(約210人)</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>=74人</td> <td>(約100人)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">参加会員 対象者(のべ人数)</p>			事業	=1533人	(約5500人)	事業	=105人	(約210人)	事業	=74人	(約100人)
事業	=1533人	(約5500人)										
事業	=105人	(約210人)										
事業	=74人	(約100人)										
協働事業 との関わり	新たな事業	今までの活動の拡大	今までの活動と同規模									
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割									
		鈴木敏介	事業全体統括・講師担当									
		八木澤喜隆	講習会設計・講師担当									
		川寄伸一	講習会設計・講師&ネット担当									
		渡邊敏行	講習会設計・講師&広報担当									
		柏木巳喜子	講師&広報担当									
		丹野祐子	講習会設計・講師担当									
		小川達久	講習会設計・講師担当									
		岩崎美知子	講習会設計・講師担当									
		天野由美子	講師&広報担当									
			今後実施に合わせ増員等の変更有り									

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	285,000	円
市の支出	196,200	円
団体の支出（他の収入等）	88,800	円

収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 196,200	
団体の支出	28,800	
事業収入	60,000	500円×10名×3講習×4ブロック（100%参加率時）
収入合計	A 285,000	

支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
講師代	162,000	133,200	指導費 ・(800円×4時間)×3名×3講習×4ブロック(市)(支出先=会員) ・(200円×4時間)×3名×3講習×4ブロック(団体)(支出先=会員) 講師単価1,000円/時(当法人にとっての最低単価)=800円(市)+200円(団体) 交通費 ・500円×3名×3講習×4ブロック(支出先=会員)
印刷代	60,000	0	500円×10冊×3講習×4ブロック
講習設計費	10,000	10,000	テキスト作成費(3種類)+チラシ作製費(1種類)
プロジェクト	38,000	38,000	PM(プロジェクトマネジメント)費:8000円×1名(リーダー)、6000円×5名(参加者5名)(支出先=会員) (本事業内容を企画設計、実施するための経費で、当法人の内規により定めているもの)
L A N設備	15,000	15,000	有線LAN用HUB&ケーブル設備一式
支出合計	B 285,000	D 196,200	

注) 収入合計Aと支出合計B、及び、市の支出Cと支出合計Dは同額となります。

注) 他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成24年度「事業」提案書

	行政提案型	新規・継続
	市民提案型	新規・継続

(宛先)
平塚市長

団体名 湘南の森

所在地 平塚市

代表者 岩澤 由美子

事業担当課 みどり公園・水辺課

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容(事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

<p>事業名</p>	<p>高麗山公園ハイキングコース等植生調査事業</p>	
<p>事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。</p>	<p>当地域の樹木の多くが高齢化・衰弱しており、一方次の世代の若い樹木の生育が殆ど見られない現状を早急に改善し、豊かで持続性のある森として次代に引き継いでゆくために、森の現況を調査・評価し、森の再生と活性化のための具体的な提言を行い、それを次年度以降の行政計画及び市民活動に反映させる。市街に密接して多くの市民に愛されているこの森を、生物多様性に富んだより美しい森として維持していくとともに、その価値を市民に発信していくことの市民サービス上の意義は大きいと考えている。</p>	
<p>市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。</p>	<p>必要性</p>	<p>毎月2回5年に亘って作業を行ってきた当団体と、当該地域の管理及び再整備計画の責任者である市との有機的な協働は、事業の推進に最適な組み合わせであると考えている。</p> <p>メリット</p> <p>(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) 本事業は、当該エリアの現況を調査・評価し、森の再生と活性化のための提言を行う報告書を成果品とする予定であり、市民は、これにより当該エリアの森林資源としての価値を客観的な資料として享受することができるとともに、本事業の発信による風致公園の保全に関する意識的醸成を享受することを見込んでいる。 また、本事業の発展型として、改正版ガイドマップの作成等による、より親しみやすい情報提供や、古損木の除去等により、コースの安全が確保されるなどのメリットも期待される。</p> <p>(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 協働により、行政側の持つ情報の共有、資金面も含めた作業上の便宜供与、市民からの信頼性の向上などのメリットが受けられることにより、作業の推進が加速される。特に地権者である森林組合の情報や市民からの要望・意見等を共有できるメリットは大きい。</p> <p>(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 当団体が長年集積してきた、該当地域の情報、ノウハウ、さらには作業に必要なマンパワーを無償で活用できるという大きなメリットがある。</p>

<p>事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<p>当該エリアを中・長期的な観点から、持続性のある市民の森として守り育ててゆく必要性を発信できると考えている。森林のエキスパートとしての識見と、GPS を調査に活用するという創意工夫、さらには、不要木の伐採・除去など、現場に即した課題にすぐ対応できる作業体制で、具体的な提案を行う。また、今年度の事業の成果として見込んでいる客観的データの収集及びそれに基づく提案を次年度以降の活動（事業）として、具現化することについても積極的に行っていく予定。</p>
<p>事業概要・計画 スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p>1．対象地域の植生調査（24年4月 - 9月） 会員4名 + 有識者1名のチームで6回の調査を実施。同時に外部技術者によるGPSを用いた測量作業も実施。対象を大木中心とし、樹齢の推定、腐朽の程度、倒木の可能性、活性度、周囲の樹木との関係などを調査し、課題の抽出と、今後の処理方針を検討する。</p> <p>2．現況を踏まえた対策案と実施計画立案（24年10月 - 12月） 上記チームにさらに有識者1名を加えた検討作業。上記の大木の処理方針をもとに、各ゾーンの森林資源としての価値と若返りの方策案を記述した植林計画（樹種、本数、実施時期等）を策定する。</p> <p>3．GPS測量結果と現況調査結果さらには今後の作業計画を図面化する。</p> <p>4．報告書作成・印刷（25年3月完成目途）</p>
<p>役割分担 協働事業は役割分担が重要です。団体の役割、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>（団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の立案と実施に向けての進行管理 ・植生調査及び報告書原稿の作成 <p>（行政）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の計画、施策との整合を図るなどのトータルコーディネート ・印刷製本費等の予算化とこれに係る外注管理
<p>他の団体との連携 この事業に関し、他団体等と実績や予定があれば記入。</p>	<p>植生調査には全国森林インストラクター神奈川会のメンバーを有識者として迎えてそのノウハウの蓄積を活用。</p> <p>特定NPO法人環境リレーションズ研究所にはGPSのレンタルと現地測量を委託の予定。</p>
<p>成果目標（目標値） 成果目標を記入してください。数値で表せる場合は目標値を記入してください。</p>	<p>対象地域全域の主要樹木の現況把握と、森を若返らせるための具体的指針を提言する。それに基づいて、次年度には、古損木やそれに準じる危険木を伐採処理し、同時にふさわしい苗木を植林することにより、森の若返りと再生に向けて具体的に動き出すことが期待出来る。</p> <p>（成果目標値：不要木50本程度の伐採と300本程度の植林の提言）</p>
<p>関連法令等 事業実施に関連した法令等があれば記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園法 ・平塚市都市公園条例 <p>ご不明の場合は、事業担当課へご確認ください。</p>
<p>事業実施以降の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も双方で実施（提案型協働事業 提案型以外） 但し、市民提案型協働事業として実施するかは未定 2．団体が単独で実施 3．行政が単独で実施 4．事業は今年度のみ予定 5．その他（ ）

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) ショウナンノモリ		
	湘南の森		
所在地・ホームページ	平塚市 ホームページアドレス http://shonan-mori.sakura.ne.jp		
連絡担当者及び連絡先	担当者 佐藤 憲隆 (役職 事務局長) 住所 静岡県伊東市		
設立年月	平成 21 年 4 月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 30 人 (うち平塚市民 12 人) 団体 = 団体		
活動内容・活動実績	湘南平から高麗山にかけての遊歩道の北側東西 500M 南北 100M の約 7ヘクタールの地域の森の下草刈りや枯損木の伐採など森の保全活動を、毎月 2 回の定例作業で実施するとともに、ガイドマップ作成等の情報提供による啓発活動にも注力している。実績としては笹や蔓でジャングル状態の森をきれいにしたことにより、沢山の草花や昆虫類が復活、市民の評価も高い。		
協働事業との関わり	新たな事業	今までの活動の拡大	今までの活動と同規模
活動体制 活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	代表	岩澤由美子	全般統轄
	副代表	杉山文彦	代表補佐、植生調査担当
	事務局長	佐藤憲隆	企画、事業推進統括
	理事	辺見徳雄	作業全般管理
	監事	高久秀雄	同上
	会計担当	小長井空幸	同上
	HP 責任者	山本明子	植生調査

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	342,000 円
市の支出	312,000 円
団体の支出（他の収入等）	30,000 円

収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 312,00	
団体の支出	30,000	団体会費より充当
事業収入	0	
収入合計	A 342,000	

支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
植生調査専門家への謝金	72,000	72,000	謝金 1 万円/回、交通費 2 千円/回、計 6 回 原則、外部提携団体の有識者を起用する予定
対策検討、専門家への謝金	36,000	36,000	同上積算、計 3 回 外部専門家を起用の予定。
GPS 測量	114,000	114,000	GPS レンタル 4 千円/回 × 6 回 測量専門家 + 助手 15,000 円 × 6 回。外部提携団体に外注
図面作成費	40,000	40,000	一式、デザイン会社に外注
報告書作成費	50,000	50,000	モノクロ簡易印刷、100 部図面付き
会員交通費補助	30,000	0	2,000 円/回、15 回 平塚外からの会員対象
支出合計	B 342,000	D 312,000	

注) 収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注) 他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は 3 月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成24年度「事業」提案書

	行政提案型 新規・継続
	市民提案型 新規 ・継続

(宛先)
平塚市長

団 体 名 明日の金田を創る会
 所 在 地 平塚市
 代 表 者 山村 高治
 事業担当課 農水産課

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	みんなですすめる花いっぱい街づくり事業	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	花のある景観づくり事業を拡大し、ひらつか花アグリを訪れる人を花で迎える。また、県道平塚・秦野線からのメイン進入路にプランターを設置し、進入路から花菜ガーデン・古川排水路沿いに続くプロムナードを花で飾る。 「里親」活動を通して地域住民にザル菊を提供し、地域のふれあいを創出する。 金田小学校の通学路や地域の拠点3カ所(花菜ガーデン周辺、東橋周辺、長瀬バス停周辺)にプランターを設置し、金田小の子供たちなどを花で迎える。	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民主導の街づくりができる。 ・心豊かな青少年育成の場の提供ができる。 ・行政の持つ信頼性及び市からの収入により、財政基盤が安定し、円滑な事業の推進ができる。 ・市の広報を通し、会の活動を広くPRすることができる。
	メリット	(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) <ul style="list-style-type: none"> ・ひらつか花アグリへの来訪者や金田小の子供たちが花を楽しむことができる。 ・ザル菊を明日の金田を創る会と地域住民で植栽・管理し、増やしていくことで、地域の交流促進につながる。 (団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など)
		<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報を通し、会の活動を広くPRすることができる。 ・協働事業における市からの収入により財政基盤が安定する。 ・地域住民に親しまれる街づくりの一端を担う事が出来る。 (市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民で会を構成していることから、迅速性があり、植木職人や農家、花に詳しい者など、専門性を持ったメンバーもあり、花のある景観づくり事業で培ったノウハウもあるので、事業を円滑に実施できる。 ・ユースボランティアの研修等の受け入れができる。

<p>事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<p>平成 21～23 年度で、行政提案型事業として花のある景観づくり事業を実施し、地域住民に参加してもらい、地域に親しみのある場所を創出すると共に、ひらつか花アグリを訪れる者が花で出迎える事が出来た。 今回は、今までの事業を拡大すると共に、金田小学校の通学路や地域拠点にザル菊のプランターを設置し、ひらつか花アグリを訪れる者や金田小の子供たちを花で出迎え、自然に親しむ豊かな心を育てる。また、ザル菊を地域住民に提供し、地域のふれあいを創り、金田地区を花いっぱい魅力のある街にするための足掛かりとする。</p>
<p>事業概要・計画 スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p>『花のある景観づくり事業の拡大』 毎月、原則 2 回現場作業 ・ 県道平塚・秦野線からのメイン進入路にプランターを設置 冬・春 パンジー、夏 ポーチュラカ 『ザル菊の里親制度』 4 月 育苗ほ場の借上げ、育苗ハウスの設置 5 月 地域に P R (自治会回覧等) 6 月 ザル菊の苗作り、ザル菊の有償提供 (1 組 = 5 本) 7 月 ザル菊を 2 本、会に戻してもらう 『小学校の通学路・地域拠点にザル菊のプランターを設置』 4～6 月の苗作りまでは 『ザル菊の里親制度』と同じ 10 月 プランターを設置</p>
<p>役割分担 協働事業は役割分担が重要です。団体の役割、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体) ・ 草刈り及び花の植栽・日常管理等の労働力、技術力の提供 ・ 会員、ボランティアの募集及び管理 ・ 青少年の研修の場の提供</p> <p>(行政) ・ 事業 PR 等に関する支援業務 ・ チラシ・報告書等の印刷業務</p>
<p>他の団体との連携 この事業に関し、他団体等と実績や予定があれば記入。</p>	<p>平成 21～23 年度においては、事業部として 5 地区の自治会の会長にメンバーになってもらい、花のある景観づくり事業におけるお知らせ等を自治会の回覧版で知らせた。</p>
<p>成果目標 (目標値) 成果目標を記入してください。数値で表せる場合は目標値を記入してください。</p>	<p>地域のふれあいを通じて花を基盤とした地域まつりを開催する。 ひらつか花アグリ収穫祭と連携し、ザル菊の観賞会やウォークラリー等を実施したい。</p>
<p>関連法令等 事業実施に関連した法令等があれば記入してください。</p>	<p>ご不明の場合は、事業担当課へご確認ください。</p>
<p>事業実施以降の方向性</p>	<p>① . 次年度以降も双方で実施 (提案型協働事業 提案型以外) 2 . 団体が単独で実施 3 . 行政が単独で実施 4 . 事業は今年度のみ予定 5 . その他 ()</p>

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) アスノカネダヲツクルカイ		
	明日の金田を創る会		
所在地・ ホームページ	所在地 平塚市 ホームページアドレス http://		
連絡担当者 及び連絡先	担当者 山村 高治 (役職 代表) 住所 平塚市		
設立年月	平成 20 年 4 月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 6.4 人 (うち平塚市民 6.4 人) 団体 = 団体		
活動内容・ 活動実績	<p>金田地区において、地域づくりを進める新たな事業を企画・提案すると共に、実現化に向けた取り組みを行う。また、金田地区の歴史や風習などにまつわる遺産を掘り起こし、住民共有の財産とする取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 20 年 2 月 / 古川排水路沿いの桜並木を紹介する看板を設置 平成 21 年 ~ 23 年度 行政提案型事業として、花のある景観づくり事業を実施 <p>【花菜ガーデンの北側に位置する古川排水路沿いの桜並木及び県道平塚・秦野線から市道 寺田縄 25 号線への進入道路の道路残地にある植栽帯に四季折々の花を植栽】</p>		
協働事業 との関わり	新たな事業	今までの活動の拡大	今までの活動と同規模
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10 名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	会長	山村 高治	会の総括
	副会長	石山 保	会長を補佐
	書記	加納 よう子	議事の記録及びその他の必要書類の保管
	会計	瀬戸 正敏	会計事務
	事業部長	根岸 秀雄	植栽の企画
	監事長	石田 昇	予算執行の監査
	副監事長	今井 隆	予算執行の監査

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費 336,856円
 市の支出 311,856円
 団体の支出（他の収入等） 25,000円

収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 311,856	
事業収入	25,000	ザル菊有償提供 500円×50組（1組=5本）
収入合計	A 336,856	

支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
育苗ハウス購入費	35,000	35,000	1棟×35,000円【 ・ 】
プランター購入費	58,000	58,000	29基×2,000円【 ・ 】
花類植採経費	100,000	100,000	1,000ポット×100円【 】
土づくり経費 （肥料代含む）	29,900	29,900	プランター用土 300円×58袋【 ・ 】 5袋×2,500円（肥料代）【 ・ 】
揚水ポンプ賃借料 （操作含む）	10,000	10,000	1,000円×2回×5ヶ月間【 】
畑賃借料	8,956	8,956	賃借料：10アール当たり8,956円【 ・ 】
作業時飲料費	25,000		5本×20回×250円【 ・ ・ ・ 】 ・ ・ ・ の事業とも作業時飲料費は必要不可欠。 ・ ・ ・ の作業日とも、同日に実施することを想定。
草刈り経費	70,000	70,000	耕耘機 2,000円（作業及び燃料代含む）×3回 草刈り 1,000円（作業及び燃料代含む）×10回×2人 スコップ 2,500円×2本、バケツ 500円×2個、レーキ 3,500円×2本、軍手 400円×10ダース 【 】 耕耘機 2,000円（作業及び燃料代含む）×3回 草刈り 1,000円（作業及び燃料代含む）×4回 スコップ 2,500円×2本、バケツ 500円×2個、レーキ 3,500円×2本、軍手 400円×10ダース 【 ・ 】
支出合計	B 336,856	D 311,856	

注）収入合計Aと支出合計B、及び、市の支出Cと支出合計Dは同額となります。

注）他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

2011年 9月 27日

平成24年度「事業」提案書

	行政提案型 新規・継続
	市民提案型 新規 ・継続

(宛先)
平塚市長

団 体 名 言語交流研究所ヒッポファミリークラブ

所 在 地 平塚市

代 表 者 升水尚子

事業担当課 指導室

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容(事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	国際理解授業(多言語でのコミュニケーション)	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	TVでも市内街中でも外国人、外国語にあふれる現代、外国語を学ぶ本来の目的とは何か その原点に触れる。 子供たちは外国語への壁を持たず柔軟である。英語教育をはじめとする外国語教育に学校でも取り組み始めた今国際理解授業や国際交流会等でことば = その背景の人物や文化 地理 歴史 等子供たちの知的好奇心を広げる。	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	小学校等で先生方とお話する機会があると国際理解授業や国際交流会等お引き受けをすることが多々あるが 市との協働事業であれば団体と市 団体と学校側の情報交換が容易ではないかと考える
	メリット	(市民のメリット:市民が受けられるサービスや解決される課題など) 幼稚園や小、中学校等これからの未来を担う子供たちに国際理解授業 国際交流会での外国人とのふれあいを通して 子供たちに世界への興味を持ってもらい 外国語の必要性を感じてもらう。 AETの不足の解消
	メリット	(団体のメリット:行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 団体の活動の周知 行政の持つ情報の活用 信頼性の確保 教育現場への参入
	メリット	(市のメリット:団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 子供たちの知的好奇心を広げ コミュニケーション力を深める育成を団体のノウハウと人脈を利用した場の提供する

<p>事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<p>英語だけではなく多言語、多国籍の人々との共生の時代が求められる現在、団体の多言語自然習得への長年の経験と知識 ノウハウをもとに外国語、または外国に対して 小学校低学年から中学生 父兄まで幅広い年代層に 理解を促す</p>
<p>事業概要・計画 スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p>実施時期は学校の要望に合わせて検討する（2校程度）。 所要時間は45分～90分で学校の授業時間に合わせて調整可。</p> <p>テーマ 外国人と触れ合う国際理解授業</p> <p>内容 講師紹介 多言語（さまざまな外国語）について 生徒と実演・外国語でコミュニケーション体験 ・多言語（外国語）であいさつ ・多言語（外国語）コミュニケーション 質疑応答</p> <p>人員配置 外国人講師3名程度、司会1名、補助スタッフ4名 講師として、英語圏のアメリカをはじめ、中国、韓国、メキシコのインターン生が、言語交流研究所に現在います。</p>
<p>役割分担 協働事業は役割分担が重要です。団体の役割、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>（団体） 事業の企画構成 講師、スタッフ等の人員手配 授業の実施、必要資料等の作成</p> <p>（行政） 団体の国際理解授業、国際交流授業の学校側への告知と調整</p>
<p>他の団体との連携 この事業に関し、他団体等と実績や予定があれば記入。</p>	<p>横浜国立大学留学生を講師に国際理解授業の実績あり</p>
<p>成果目標 （目標値） 成果目標を記入してください。数値で表せる場合は目標値を記入してください。</p>	<p>外国人講師との出会いやふれあいを通じて、相手の国の文化・地理・歴史等に興味を広げ、国際交流やコミュニケーション、ことばへの興味を広げる。また、多言語（外国語）とふれあうことで、国際理解を深めるとともに、多言語（外国語）の必要性や可能性の理解を図る。 （授業の実施後に児童・生徒への感想等や、教員へのアンケートなどを行い、評価する。） （成果目標値： ）</p>
<p>関連法令等 事業実施に関連した法令等があれば記入してください。</p>	<p>なし</p> <p>ご不明の場合は、事業担当課へご確認ください。</p>
<p>事業実施以降の方向性</p>	<p>・次年度以降も双方で実施（ 提案型協働事業 提案型以外） 2．団体が単独で実施 3．行政が単独で実施 4．事業は今年度のみ予定 5．その他（ ）</p>

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) ゲンゴコウリュウケンキュウジョ ヒッポファミリークラブ		
	言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ		
所在地・ ホームページ	所在地 平塚市 ホームページアドレス http:// www.lexhippo.gr.jp		
連絡担当者 及び連絡先	担当者 升水尚子 (役職 言語交流研究所研究員) 住所 平塚市		
設立年月	1996 年 11 月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 76 人 (うち平塚市民 65 人) 団体 = 3 団体		
活動内容・ 活動実績	教育委員会後援による講演会(毎年) 市民向け講座 共催事業 (2010.11, 2011.6) 国際交流会 10.3 ロシア 港小 10.3 韓国 中原幼稚園 10.6.12 マレーシア 神田小学校 国際理解授業 土屋小学校、富士見小学校、花水小学校、金田小学校		
協働事業 との関わり	新たな事業 今までの活動の拡大 今までの活動と同規模		
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	団体研究員	升水尚子	事業全体の総括 企画構成
	団体研究員	浅野由紀子	"
	団体メンバー	菊地原容子	補助
	団体メンバー	内橋訓子	補助
	団体メンバー	小原美穂	補助
	団体メンバー	太田泰代	補助
	団体メンバー	和田陽子	補助
	団体メンバー	斉藤睦恵	補助
	団体メンバー	長田沙弥香	補助
	団体メンバー	落合乃生	補助

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	78,140	円
市の支出	71,640	円
団体の支出（他の収入等）	6,500	円

収入

金額単位：円

項 目	予算額	内 容
市の支出	C 71,640	団体への負担金 15,000 円 講師謝礼（報償費）56,640 円
団体の支出	6,500	
事業収入		
収入合計	A 78,140	

支出

項 目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
有償ボランティア	5,000	5,000	司会・補助スタッフへの謝礼 500 円×5 人×2 校
講師謝礼	30,000	30,000	講師謝礼（外国人講師）5,000 円×3 人×2 校
当日配布資料	10,000	10,000	資料印刷費等 5,000 円×2 校
交通費（講師）	26,640	26,640	電車代（東京～平塚） 2,220 円×2 回（往復）×3 人×2 校
交通費（スタッフ）	5,000	0	バス代、車のガソリン代等 500 円×5 人×2 校
飲料費	1,500	0	150 円×5 人×2 校
支出合計	B 78,140	D 71,640	

注）収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注）他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成 23 年 9 月 27 日

平成 24 年度「事業」提案書

	行政提案型 新規・継続
	市民提案型 新規 ・継続

(宛先)
平塚市長

団 体 名 N P O 法 人 日 本 古 典 芸 能 雅 楽 普 及 会

所 在 地 神 奈 川 県 平 塚 市

代 表 者 中 戸 川 君 子

事 業 担 当 課 指 導 室

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	雅楽公演 (鑑賞会・体験学習)	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	世界の人々に対して、雅楽などの古典芸能を中心とした日本文化普及啓発に関する事業を行い、青少年の健全育成、日本の伝統的文化の普及、及び国際交流の促進に寄与する事を目的とする。	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	青少年の育成、情操面の高揚をはかることにより、市の目的でもある青少年の健全育成の一助になる事。
	メリット	(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) 世界に誇れる日本の伝統芸術を身近に触れることができる。
		(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 行政が各部署への連絡調整を担うことで、学校教育の現場における雅楽普及活動の利便がはかれる。
		(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 国(文部科学省)における学習指導要領の一助となる。

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) トク化エリカド ウルジン ニホンコング イノガ ガクキョウカイ		
	特定非営利活動法人 日本古典芸能雅楽普及会		
所在地・ ホームページ	神奈川県平塚市 ホームページアドレス http://		
連絡担当者 及び連絡先	担当者 中戸川 君子 (役職 理事) 住 所 神奈川県平塚市		
設立年月	平成 23 年 4 月 (法人格取得年月 23 年 4 月)		
会員の状況	個人 = 11 人 (うち平塚市民 5 人) 団体 = 団体		
活動内容・ 活動実績	平成 15 年 4 月 雅楽公演 於：平塚市中央公民館 平成 16 年 9 月 雅楽公演 於：平塚市中央公民館 平成 21 年 4 月 雅楽鑑賞 於：平塚市渋田川 「渋田川桜まつり」 平成 21 年 7 月 雅楽公演 於：平塚市中央公民館 (インド舞踊とのコラボ) 平成 22 年 4 月 雅楽鑑賞 於：平塚市渋田川 「渋田川桜まつり」 (北之台平塚舞楽サークル)		
協働事業 との関わり	新たな事業 今までの活動の拡大 今までの活動と同規模		
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	理事(長)	中戸川 君子	事業全体の総括
	理事(副)	井口 陽一郎	シナリオ企画作成 雅楽責任者
	理事	伊藤 裕	運営の総括 受付
	会計	横山 實	会計 管理 収支決算報告の作成
		井口 峰子	シナリオ企画作成 舞楽責任者
		森作 光雄	運営の総括 報告会の司会
		須賀 康浩	演奏会 司会
		中戸川 忠義	会場 責任者
		原 安雄	渉外
	中戸川 貴弘	取材 撮影	

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費 1,185,560 円
 市の支出 625,560 円
 団体の支出（他の収入等） 560,000 円

収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 625,560	
団体の支出	560,000	
事業収入		
収入合計	A 1,185,560	

支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
交通費	125,560	125,560	運送費（楽器・舞台・装束） 有料道路 九十九里有料道路～東名厚木 片道3,650円 往復7,300円 7,300円×5台=36,500円 燃料 走行距離173km 燃費9.8km ガソリン146円/ℓ 5台 18ℓ×146円=2,628円(片道) 2,526円×2=5,256円(往復) 5,256円×5台=26,280円 合計 36,500円+26,280円=62,780円×2校
謝礼	480,000	480,000	司会1人、演奏12人、舞8人、着付3人、体験補助3人（計27人うち3人は無償ボランティア） 10,000円×24人×2校=480,000円
資料	20,000	20,000	資料印刷、消耗品 10,000円×2校
製作費	100,000	0	舞台製作 50,000円×2校
食料費	80,000	0	出演者27人、会場（舞台設営）10人、受付3人（計40人） 昼食（弁当）茶 1,000×40人=40,000
楽器・装束経費	380,000	0	楽器消費費30,000円 クリーニング 3点800円×20人=16,000円 装束手入れ（汗取り） 12人×2点+8人×3点=48点 48点×3,000円=144,000円 合計190,000円×2校
支出合計	B 1,185,560	D 625,560	

注）収入合計Aと支出合計B、及び、市の支出Cと支出合計Dは同額となります。

注）他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成24年度「事業」提案書

	行政提案型 新規・継続
	市民提案型 新規・ 継続

(宛先)
平塚市長

団 体 名 ひらつか市民活動連絡協議会

所 在 地 平塚市

代 表 者 原園 信夫

事業担当課 協働推進課

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	市民活動団体間の連携強化と活動拠点の機能強化	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	市民活動団体は300強の団体が市民活動センターに登録されているが、その目的は、個々に社会的課題に取り組み、より住みやすいまちのために活動している団体であるが、その活動が地域住民にあまり認知されていない場合もある。 まちを良くするため共有の目的を持つ団体が連携し、お互いが協力・助け合うことで、より良い活動となることで、この町を少しずつでも良くしていくパワーになり、市民活動の活性化を図っていく。	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	市民活動センターへ登録されている団体が力をつけることは、町の発展に役立つことであり、その機能として市民活動センターがある、その機能を市民活動団体がサポートすることで、連携の強化が図れる。まだ団体にとって市と協働することにより市民団体や自治会への呼びかけの信用を得られる。
	メリット	(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) 市民活動団体のいろいろなノウハウを取り込むことで、団体が抱える悩みの解決や、地域の抱える悩みへも一緒に考え、全国の先進事例からもノウハウをいただきながら、町を良くしていくメニューを展開できる。
	メリット	(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 市民活動センタースタッフと協力することで、団体間の交流を図り、市民活動団体のパワーアップになることが当会の目的とする地域への役立ちにつながる。 (市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 当会を組織する様々な分野で活動する市民活動団体のノウハウと成功事例を活かして交流会等の事業の実施をすることができ、市の施策である市民活動の普及・活性化を図ることができる。

<p>事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体間の連携強化を図るため、当会の中間支援のノウハウを活かした分野別部会や交流会等開催。また、P D C Aサイクルでの問題解決手法。センター事業に、団体のノウハウを活かした協働運営。 ・市民活動団体が連携や意見集約することで、行政や自治会へ対しているいろいろなメニューを提供していくことができる。
<p>事業概要・計画 スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 分野別部会(グループディスカッション)の運営 分野別部会の継続的な開催(年数回×4部会)、及び、活動案の実施 企画会議:スタッフ6人×年間20回 当日運営(司会、受付、会場設営、記録、雑務等):スタッフ8名×4回 分野別部会や全体での講演会・フォーラム等の開催 ・各部会単位(3回程度)や、23年度に実施した全体でのフォーラムの開催。永沢氏からの継続的なアドバイスをいただく(年1回)。 企画会議:スタッフ6人×3日×4回 当日運営:スタッフ8名×4回 行政との連携(協働)の模索、自治会との連携の模索 ・23年度に実施したアンケートより導き出された課題へ、地域コミュニティづくりのサポートを模索する(アンケート結果の活用)。 2. 情報の発信(情報紙・ホームページ・メルマガ・その他の広報媒体) ・分野別部会への新たな巻き込みと協働の普及啓発を目的に、分野別部会の進捗状況や協働事業の情報などの情報紙(A4、年3回程度)の発行やホームページ・メルマガでの発信。 編集会議:スタッフ4人×3日×3回 紙面作成:スタッフ2名×4日×3回 3. 活動拠点の機能強化 コーディネーター機能(相談機能)の充実 ・お助けメニューを活用した、コーディネート機能や相談機能の強化、センターまつり(9月)やボランティア博覧会(2月)での相談機能の強化を検討。 利用者団体交流会の協働運営 ・「団体間の連携」「市民活動団体の意見集約」をテーマに、新規登録団体交流会(5月)と新春団体交流会(1月)の2回開催。 協働の研修会への協力 ・市民や行政職員を対象に、協働の普及啓発を目的とした研修会(4月)を実施。(市民活動団体向け1回、行政職員向け1回) 協働事業への相談・アドバイス ・協働事業の企画提案へ、市民目線の相談やアドバイスの実施。また、協働事業の協働運営の研究や検討。
<p>役割分担 協働事業は役割分担が重要です。団体の役割、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業に関する広報(チラシ、ポスターの作成) ・講演会、分野別グループ部会等の企画、開催、運営 ・市民活動団体間の連絡、協議、調整 ・センターまつり実行委員会との協議、連携 ・報告誌の原稿作成 <p>(行政)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供(市の施策やセンター登録団体情報など、公開できるもの) ・講演会、分野別グループ部会等の会場確保 ・実施事業に関する広報の協力(広報紙掲載、チラシ配架、ポスター掲示) ・報告誌の印刷 ・その他、実施事業に関する補助、協力、助言など

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) ヒラツカシミンカクトウケンラクキョウカイ ひらつか市民活動連絡協議会		
所在地・ ホームページ	所在地 平塚市 ホームページアドレス http:// heartland.geocities.jp/calc_hiratsuka/		
連絡担当者 及び連絡先	担当者 横田 裕 (役職 副会長) 住所		
設立年月	2005年 2月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 22人 (うち平塚市民 22人) 団体 = 22団体		
活動内容・ 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の連携、協力体制の確立 ・要援護者支援フォーラムの開催、イベントの開催 ・障害者団体要援護者支援アンケートの実施 ・ひらつか市民活動センターまつり協力 ・東日本大震災への支援取り組みとして、「平塚市民災害支援実行委員会」を作り、街頭募金、復興支援イベントの開催、災害地現地支援部隊の実施 		
協働事業 との関わり	新たな事業	今までの活動の拡大	今までの活動と同規模
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	会長	原園 信夫	総合まとめ
	副会長	横田 裕	進捗管理
	事務局長	武井 敦司	庶務
	広報	坂田 美保子	広報、福祉部会担当
	広報	鈴木 恵子	広報、まちづくり部会担当
	広報	坂本 著法	広報、防災部会担当
	部会長	小山 昇	災害時要援護者支援
	部会長	内田 芳恵	福祉部会長

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	801,400	円
市の支出	791,400	円
団体の支出（他の収入等）	10,000	円

収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 791,400	
団体の支出	10,000	
事業収入	0	
収入合計	A 801,400	

支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
講師謝礼	135,000	135,000	全体フォーラム 講師謝礼 45,000 円×1 回(交通費含) 部会別講演会等 講師謝礼 30,000 円×3 回
人件費 (有償ボランティア)	636,800	636,800	・分野別部会の継続開催 企画 2H×6 人×20 日×800 円 当日運営(司会・受付・会場設営等) 8 人×4 回×半日 500 円 ・講演会・フォーラム 企画 2H×6 人×3 日×4 回×800 円 当日運営 8 人×4 回×半日 500 円 ・情報紙の発行 企画・編集 2H×4 人×3 日×3 回×800 円 紙面作成 4H×2 人×4 日×3 回×800 円 ・コーディネーター機能の充実 企画 2H×4 人×3 日×2 回×800 円 当日運営 8 人×2 回×半日 500 円 ・交流会の協働運営 企画 2H×4 人×3 日×2 回×800 円 当日運営 4 人×2 回×半日 500 円 ・協働研修会の協働運営 企画 2H×4 人×3 日×2 回×800 円 当日運営 4 人×2 回×半日 500 円 ・協働事業への相談・アドバイス 相談 2H×2 人×10 回×800 円
食料費	10,000	0	講師弁当 1,000 円、交流会お茶食料 4,500 円×2 回
事務用品費	7,000	7,000	A4 用紙 400 円×5 束、 ワークショップ用消耗品 5,000 円 (模造紙 200 円/2 枚×10P、ホストイト 300 円×10P)
印刷費	6,600	6,600	資料印刷・コピー 110 円×6 枚×10 回
交通費	6,000	6,000	事業実施に伴うスタッフの交通費 500 円×2 人×6 回 分野別部会(災害時用援護者支援等)の近隣調査
支出合計	B 801,400	D 791,400	

注) 収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注) 他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

23年 9月 30日

平成 24年度「事業」提案書

	行政提案型 新規・継続
<input checked="" type="radio"/>	市民提案型 新規 <input checked="" type="radio"/>

(宛先)

平塚市長 様

団 体 名 ひらつか自治体財政研究会

所 在 地 平塚市

代 表 者 井上 駿

事業担当課 財政課、指導室

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	小学生向け財政パンフレットの作成	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年度実施事業で、平塚市の財政を紹介したパンフレットを作成し、社会科の授業「税金のはたらきとわたしたちの暮らし」などの教材用に提供した。 授業に使用した経験を元に、理解の程度や改善点などアンケートを取り分析した。 このアンケート結果や、先生方との面談・討論などを通して、平塚市の財政をより分かりやすくするよう、見直し改善する。 まちづくりと財政を、小学生とその家族に知ってもらう。 	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の社会の時間に使用してもらうために、財政課や指導室と協働で一緒に作成することが必要となる。
	メリット	<p>(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会科の授業で、平塚市の財政を知ることができる。 授業で使われたパンフレットを家庭に持ち帰って、家族で財政について話し合うことができる。 市民に、財政に関心を持ってもらうキッカケとなる。 <p>(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政と協働で作成したパンフレットと言うことで、信頼してもらって市民へ広報することができる。 分かりやすいパンフレットは、市民への広報に大いに活用することができる。 <p>(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政白書を 3 冊発行した、作成ノウハウなど活用できる。

<p>事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい財政パンフレットを、小学生に提供することができる。財政白書として今まで3冊を発行してきたが、それらの内容をもっと知ってもらうために、小学生に(その家庭にも)届ける。 ・まちづくりに参加することの大切さ知る、キッカケとしたい。 ・平成23年度に作成し授業で使用した経験を生かして、より良いパンフレットを作成し授業に活用してもらうことができる。
<p>事業概要・計画 スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・～5月 アンケート分析、先生との面談・討論 (6人) ・6月～7月 パンフレット検討 (4人) ・8月～9月 作成 (3人) ・11月～3月 アンケート分析、先生との面談・討論 (6人)
<p>役割分担 協働事業は役割分担が重要です。団体の役割、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生に理解してほしい財政情報は何か、どのような内容を記載するか洗い出す。 ・小学生が授業で理解できるよう、デザインや用語などに工夫する。 ・財政パンフレットの作成。 <p>(行政)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政の基本情報を準備・提供。 ・小学生に理解してほしい財政情報は何か、どのような内容を記載するか洗い出す。 ・社会科の先生方と、用語、表現内容などを検討する。 ・授業で使用しアンケートを取る。
<p>他の団体との連携 この事業に関し、他団体等と実績や予定があれば記入。</p>	
<p>成果目標 (目標値) 成果目標を記入してください。数値で表せる場合は目標値を記入してください。</p>	<p>小学生に分かってもらえる財政パンフレットを目指す</p> <p>(成果目標値：)</p>
<p>関連法令等 事業実施に関連した法令等があれば記入してください。</p>	<p>ご不明の場合は、事業担当課へご確認ください。</p>
<p>事業実施以降の方向性</p>	<p>①. 次年度以降も双方で実施 (提案型協働事業 提案型以外)</p> <p>2 . 団体が単独で実施 3 . 行政が単独で実施</p> <p>4 . 事業は今年度のみ予定 5 . その他 ()</p>

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) ヒラツカジチタイザセイケンキュウカイ ひらつか自治体財政研究会		
所在地・ ホームページ	所在地 平塚市 ホームページアドレス http://hira.saisei.googlepages.com/home		
連絡担当者 及び連絡先	担当者 坂本著法 (役職 代表幹事) 住所 平塚市		
設立年月	2006 年 6 月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 26 人 (うち平塚市民 22 人) 団体 = 団体		
活動内容・ 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体の財政内容は分かりにくく、“広報ひらつか”も分かりにくいので、学習会や定例会で自治体の財政分析、自治体情報の入手・分析等を行い、自治体の財政・まちづくりは如何にあるべきかを討論し広報活動を行っている。 ・平成20年12月ごみ焼却炉新規大型化建設に対し、署名運動を行い市議会宛に請願書を3251筆提出する。 ・平成21年3月財政白書(その1)「気になるところ、調べました・・・私たちの税金は、何にどう使われているの?」を発行。 ・平成22年3月財政白書(その2)「平塚市民の目線で作った2冊目のまちづくり財政白書」を発行。 ・平成23年度財政白書(その3)発行、まちづくり情報を発信する小冊子財政白書ミニ版の発行。市議会議員、情報宅配便を使った行政職員との意見交換会の開催。 		
協働事業 との関わり	新たな事業 今までの活動の拡大 今までの活動と同規模		
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	会長	井上 駿	作成メンバー
	副会長	鈴木 俊彦	作成とりまとめ
	副会長	谷 厚太郎	作成メンバー
	副会長	舩島 三郎	作成メンバー
	代表幹事	坂本 著法	作成とりまとめ(副)
	幹事	石井 信彦	作成メンバー
	幹事	門屋 輝慶	作成メンバー
	幹事	西岡 佐代子	作成メンバー
	幹事	金子 新平	作成メンバー
幹事	杉本 和子	作成メンバー	

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	150,400	円
市の支出	134,400	円
団体の支出（他の収入等）	20,000	円

収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 130,400	
団体の支出	20,000	
事業収入		
収入合計	A 150,400	

支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
人件費	102,400	82,400	財政パソレット 800円 X 96H = 76,800円 教師用資料 800円 X 32H = 25,600円 [合計：102,400円] 団体負担分：20,000円 市負担分：102,400円 - 20,000円 = 82,400円 (人件費は会員への支出で、会員外へは支出しない、団体の新規事業)
印刷費等	43,000	43,000	財政パソレット 23,000円 (A4判4ページ、カラー、2,500部) 教師用資料 20,000円 (A4判20ページ、モノクロ、100部)
事務消耗品費等	5,000	5,000	印刷用紙 A4、2,500枚、2,500円 プリンターインクなど
支出合計	B 150,400	D 130,400	

注) 収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注) 他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成24年度「事業」提案書

(宛先)
平塚市長

	行政提案型 新規・継続
	市民提案型 新規・ 継続

団体名 平塚のら猫を減らす会

所在地 平塚市

代表者 小山 昇

事業担当課 環境政策課

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容(事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

<p>事業名</p>	<p>「地域猫」への取り組み</p>
<p>事業の目的・必要性</p> <p>なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。</p>	<p>平塚市内では、捨てられた飼い猫が野良猫として繁殖を繰り返し、相当数の野良猫が数世代にかけて生息している。飼い主のいない野良猫が住宅でフンをしてしまったり、鳴き声などの被害により、トラブルの原因となっている。野良猫に対する価値観の違いから、住民同士のトラブルに発展するケースが多い。また、野良猫は繁殖力が非常に強く、何も対応しないと爆発的に増えて、トラブルの原因を増やす結果になる。地域のコミュニティの見地から放置できない現状がある。</p> <p>そのため、</p> <p>野良猫をこれ以上増やさないための不妊・去勢手術を実施する。</p> <p>動物愛護法にのっとり、人と動物の共生を考慮する。</p> <p>地域内での野良猫被害を軽減させるとともに、猫問題を住民同士が共有してトラブルゼロを目指すことによって、地域コミュニティの再構築を目指す。</p> <p>以上を目的とし、「地域猫」制度を地域に提言し活動していく。</p>
<p>市と協働する必要性・メリット</p>	<p>(平塚市)</p> <p>本来、野良猫に関する問題は担当課で行わなければならない。野良猫の不妊・去勢手術に関する補助金制度だけでは根本的に野良猫を減らすことにはならず、長年野良猫問題に携わっている市民団体との協働により、お互いが把握しているトラブル情報の共有化や、ノウハウの相互提供ができる。</p> <p>(平塚のら猫を減らす会)</p> <p>野良猫問題解決のため、8年間で約3,800匹以上の野良猫の不妊・去勢手術を実施してきたが、トラブルは市内全域に及んでいる。資金面や啓発活動、人的資源など市民活動の域を超える部分も多くあり、行政との協働が不可欠である。</p>

<p>なぜ、協働で実施したのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。</p>	<p>メリット</p>	<p>(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野良猫によるフン尿・ゴミあさり・庭荒らし等の被害を軽減する。 ・野良猫被害の窓口が明確になる。(自治会・町内会・市役所) ・野良猫に関するトラブルを解決するだけでなく、トラブルを通じて地域の住民との話し合いやコミュニケーションをとる機会が増え、地域コミュニティの強化につながる。
		<p>(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政と協働することで、野良猫問題を地域に広く啓発できる。 ・協働することで会員の意識改革になり、活動の信用度が増す。 ・行政の広報活動を活用できる。 ・野良猫問題の解決を公的なものにするにより、広く啓発ができる。 ・野良猫に対する問題解決のノウハウは長年の活動で得ているものの、地域住民へ説明する際は市民団体と言う理由から説明すら聞いてもらえない場合が多く、行政と協働して活動することにより、地域猫活動をより推進することができる。
		<p>(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など)</p> <p>長年、課題となっていた野良猫に関する問題を団体・地域住民を交えながら解決することにより、大幅な事務軽減につながる。また、補助金の活用をより一層推進することができる。動物愛護に関する情報発信・啓発も強化できる。</p>

<p>事業のアピールポイント</p> <p>この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<p>人とのかわりが薄い社会が進むにつれて、地域の絆が希薄となり地域に様々な問題が生じている。その中で空前のペットブームが起り、動物の命が軽視されはじめ、簡単に動物の命を捨ててしまうことで野良猫問題が発生してしまった。</p> <p>野良猫を地域の問題として、地域の合意で「地域猫」として適切に管理することを通じて、猫を好き・嫌い・無関心同士の人の絆を深めコミュニティの再構築を目指す。</p>
<p>事業概要・計画</p> <p>スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p><事業概要> 「地域猫」とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野良猫を地域のルール(エサの管理、不妊・去勢手術の徹底、フンの清掃、周辺美化など)に基づいて適切に管理すること。 ・野良猫の数を増やさないで一代限りの生を全うさせる。 ・地域住民の認知を得られた猫のことである。 ・猫嫌い・猫好き・無関心な人が地域の問題として関わることにより、地域コミュニティの再構築を図る。 <p><計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度から引き続き平塚市内に置いて自治会や地域など、10地区を選定。 ・分かりにくい野良猫問題への周知を図るため、講演会・勉強会を開催。 ・野良猫問題を通じ、地域コミュニティの活性化を図る。

<p>役割分担</p> <p>協働事業は役割分担が重要です。団体の役割、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体)</p> <p>野良猫の不妊去勢手術を「地域猫」推進メンバー」がアドバイスと技術指導。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不妊去勢手術をするための野良猫の捕獲に必要な捕獲檻の貸出しや、檻の設置・取り扱い、捕獲方法の助言、動物病院への搬送手伝いなどをアドバイス。 ・ 猫の習性を利用した、野良猫のトイレの設置・エサ場の管理等の「地域猫」運営上のアドバイスと設置作業の手伝い等。 (決まった時間・同じ量・同じ場所で与えるなどのアドバイス) ・ 「地域猫」の講習会・連絡打ち合わせ会議・情報の提供。 ・ 行政・自治会、町内会・関係者等に協働を推進する提言。 ・ ウンチパトロールを地域の関係者と協働で実施。 ・ 地域での活動状況を地域内に報告。 <p>(行政)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の自治会へ地域の環境改善と、まちづくりとしての問題提起をして「地域猫」の啓発を進める。 ・ 情報活動を進めていく事で「動物愛護法」と「地域猫」の定着を図る。 ・ 「地域猫」を進める上で必要な機材の購入等の資金の提供。 ・ 広報活動(メディア)を通じて市民への問題提起と理解を深める。 ・ スムーズな事業進行やトラブル等の際の調整。
<p>他の団体との連携</p> <p>この事業に関し、他団体等と実績や予定があれば記入。</p>	<p>平塚保健福祉事務所環境衛生課(野良猫へのエサやり等の助言等)</p> <p>各地区自治会(協力者の募集や地域猫活動への承認等)</p> <p>自治会・町内会・関係市民団体</p>
<p>成果目標 (目標値)</p> <p>成果目標を記入してください。数値で表せる場合は目標値を記入してください。</p>	<p>野良猫をゼロにするのではなく、トラブルをゼロにする</p> <p>上記を行政と市民団体が共通の目標とし、野良猫による鳴き声やフン害によって住民同士がトラブルとなっている地域に地域猫という方法を認知してもらう。猫好きな人の協力を仰ぎ、猫嫌いは活動の妨害をしない、興味のない人については地域猫活動を見守ってもらい、相互理解を地域住民ですることにより地域の絆を深め、トラブルの軽減を図る。</p>
<p>関連法令等</p> <p>事業実施に関連した法令等があれば記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動物の愛護及び管理に関する法律(動物愛護法) <p>ご不明の場合は、事業担当課へご確認ください。</p>
<p>事業実施以降の方向性</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次年度以降も双方で実施(提案型協働事業 提案型以外) 2. 団体が単独で実施 3. 行政が単独で実施 4. 事業は今年度のみ予定 5. その他()

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) ヒラツカノラネコヲヘラスカイ		
	平塚のら猫を減らす会		
所在地・ ホームページ	所在地 平塚市 ホームページアドレス http://		
連絡担当者 及び連絡先	担当者 小山 昇 (役職 代表者) 住所 平塚市		
設立年月	平成14年10月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 70 人 (うち平塚市民 65 人) 団体 = 団体		
活動内容・ 活動実績	<p>「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、猫の適切な飼養を普及啓発をし、のら猫・捨て猫の増加防止を図る、T.N.R活動（捕獲・不妊手術・元に戻す）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不妊去勢手術実施数（累計）約 3,500 匹以上。 ・ 平成 23 年 6 月現在・毎月定例会開催。 ・ 不妊手術への資金活動、年間 12 回以上のバザー開催・会報の発行。 ・ 猫の里親譲渡活動。インターネット等を活用・各地の里親会に参加。 ・ のら猫被害の軽減・環境改善・地域が抱える、のら猫トラブルへの対応。 ・ 平成 18 年「猫の不妊去勢手術に補助金制度」を 4,832 名の署名を市長へ。 ・ 平成 19 年平塚市は「猫の不妊去勢手術へ補助金制度」を開始。 ・ 「まちづくり」としての、のら猫活動「地域猫」の取り組みを提言。 		
協働事業 との関わり	新たな事業	今までの活動の拡大	今までの活動と同規模
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	代表	小山 昇	リーダー
	副代表	宇土 貞子	地域猫アドバイザー
	会計・広報	宮川 弘乃	地域猫アドバイザー
	広報	風間 英子	地域猫アドバイザー
	里親	矢崎 広美	地域猫アドバイザー
	TNR	朽方 美代子	地域猫アドバイザー
	TNR	福田 雅子	地域猫アドバイザー
	TNR	田中 照枝	地域猫アドバイザー
	TNR	豊島 章子	地域猫アドバイザー
TNR	小山 芳江	地域猫アドバイザー	

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	238,000 円
市の支出	143,000 円
団体の支出（他の収入等）	95,000 円

収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 143,000 円	負担金 報償費
団体の支出	95,000 円	バザー等の収益
事業収入	0 円	
収入合計	A 238,000 円	

支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
人件費	128,000 円	128,000 円	<p>人件費については、全て会員への支出である。行政に代わって行う代行業業である。地域猫活動定着のため、一度につき2時間の業務が必要となる。自治会や現場等でのら猫を減らす会会員の指導を3回ほど費やし、「地域猫推進メンバー」として会から全15名を選抜し各自治会等に2~4名ほど出張し、担当する。推進メンバー含め、会員は仕事の合間を縫って活動しており、地域から依頼があった場合は優先して地域猫活動の普及に従事するため、人件費を計上した。</p> <p><内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目（説明会のため、人数が多く必要） 8,000円×2h×5名=8,000円 ・2回目、3回目（現場での助言・作業） 8,000円×2h×2名=3,200円 <p>8,000円+3,200円+3,200円=12,800円×10地区=128,000円</p>
講演会講師料	30,000 円	15,000 円	年2回実施予定（市主催・団体主催 各1回）
その他経費	80,000 円	0 円	<p>広報・印刷費 60,000円</p> <p><内訳></p> <p>（地域への説明会時に配付する資料印刷代） 30ページ×20部×10地区×10円 コピー代を10円として計上</p> <p>その他（消耗品費等） 20,000円</p> <p><内訳></p> <p>印刷用紙代 3,000円 猫寄せ用マタタビ代 700円×10個=7,000円 プリンター（猫トイレ） 1,000円×10個=10,000円</p>
支出合計	B 238,000 円	D 143,000 円	

注）収入合計Aと支出合計B、及び、市の支出Cと支出合計Dは同額となります。

注）他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成 24 年度「事業」提案書

(宛先)
平塚市長

	行政提案型 新規・継続
✓	市民提案型 新規・ 継続

団 体 名 ごみを活かす会

所 在 地 平塚市

代 表 者 永山寿子

事業担当課 資源循環課

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	一般家庭での生ごみ自家処理推進事業	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	目的：一般家庭において生ごみの自家処理が可能であることを市民の常識として普及する。 必要性：市のごみ処理経費は膨大なものであり、その軽減が必要である。軽減された費用は他の必要経費に回すことが出来、市民サービスにつながる。	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	市との協働事業であることで市民の信頼が増す。市による情報提供は参加者に正しい知識を与え、市の予算によって運営されることによって事業の重要性が裏付けられる。
	メリット	(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) 市民が自分自身の手で生ごみ処理が可能なることを理解することは、市民の協働への自信を深める。
		(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 市との協働により正確な情報が得られ、予算的な裏付けを持つことにより事業の実施が容易になる。市職員の積極的な協力が団体の活動を励まし、参加する市民に安心感を与える。 (市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 団体の持つ専門的知識を行政と市民の協働に活用できる。
事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。	科学者の講演で目からうろこが落ちる 行政主導型でなく、市民が事業の第一線に立って実践することはきわめて先駆的である。 事業の実施に当たっては、箱もの予算を一切必要としないことも、今の財政事情から見て極めて好ましいことである。 市民が身近で簡単に出来る方法を薦めている	

<p>事業概要・計画</p> <p>スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p>23年度よりは自家処理家庭を増やすことを計画の基本とし、参加しやすいプログラムにする</p> <p>1 講習会の開催： 20名の自家処理実践者、5名の相談員を養成する（参加者が選択） 第1回 基本講習 「なぜ生ごみが消えて行くか」 生ごみ処理における微生物の役割 第2～7回 実技講習 (1) 集合住宅型（ダンボール法、プランター法） (2) 庭・菜園型（土穴法、コンポスター法） (3) 微生物活用型（EM菌法・バチルス菌法） を各地域で開催する。 それぞれの「型」を週日と土日祝日の1回ずつ、合計6回、出来れば現地で実施する。 *参加者は関心のある講習を選択し何回でも受講できる *前年度受講者の参加も自由とする 第8～9回 実地見学 市施設見学、企業・学校・自治会などの取り組み見学 第10回 報告会</p> <p>2 出前講座の実施： 23年度受講者が中心になって地域で行う講習を3回予定する。ごみを活かす会はこれを支援する。</p> <p>3 ステッカーの配布： 受講者から、登録相談員5名、生ごみ自家処理実践者20名を登録・配布する。さらに市の環境フェア・緑化まつりなどで、生ごみ自家処理実践者30名を登録・配布する。</p>
<p>役割分担</p> <p>協働事業は役割分担が重要です。団体の役割、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体) 講習会運営の実務 講師折衝 会場・資材準備 緑化まつりなどで、自家処理者の登録とステッカーの配布</p> <p>(行政) 必要資料の印刷 広報 公共の会場設定 緑化まつりなどで、自家処理者の登録とステッカーの配布</p>
<p>他の団体との連携 この事業に関し、他団体等と実績や予定があれば記入。</p>	<p>地域で行う講習会を計画しているので、自治会・ごみ減量婦人の会の積極的な参加と協力を得たいと考える。</p>
<p>成果目標 (目標値) 成果目標を記入してください。数値で表せる場合は目標値を記入してください。</p>	<p>講習会を通して、生ごみ自家処理実践者20名、相談員5名を養成する。生ごみ自家処理家庭数はH24年度55戸（参考：H23年度30戸）を目標とする。 参加者による生ごみを自家処理量はH24年度10tを目標とする。算出の根拠は1家庭1日500g×55戸×300日=8,250,000g/年 (成果目標値：相談員30名、各地講習会40回)</p>
<p>関連法令等 事業実施に関連した法令等があれば記入してください。</p>	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律</p> <p>ご不明の場合は、事業担当課へご確認ください。</p>
<p>事業実施以降の方向性</p>	<p>・次年度以降も双方で実施（<input checked="" type="checkbox"/>提案型協働事業 提案型以外）</p> <p>2．団体が単独で実施 3．行政が単独で実施</p> <p>4．事業は今年度のみ予定 5．その他（ ）</p>

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) ゴミライカスカイ		
	ごみを活かす会		
所在地・ホームページ	所在地 平塚市 ホームページアドレス http://		
連絡担当者及び連絡先	担当者 井上 駿 (役職) 住所 平塚市		
設立年月	平成 18 年 11 月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 10 人 (うち平塚市民 9 人) 団体 = 団体		
活動内容・活動実績	「家庭で出来る生ごみの堆肥化」の学習会 7 回 講演会「知っておきたいごみ問題」 市主催の緑化まつり、環境フェア、環境ファンクラブ展示会、くるりんまつり、などに参加 小学校の環境教室の出前講座実施 冊子「家庭で出来る生ごみの堆肥化」発行		
協働事業との関わり	新たな事業	今までの活動の拡大	今までの活動と同規模
活動体制 活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	代表	永山寿子	事業の運営
	運営委員	井上 駿	個別課題の選定・運営
	運営委員	佐藤隆一	同上
	運営委員	近藤恵子	会計
	運営委員	厚見利子	事業の運営に関する相談
	運営委員	小山 昇	同上
	運営委員	江口友子	同上

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	246,352 円
市の支出	241,352 円
団体の支出（他の収入等）	5,000 円

収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 241,352	
団体の支出	5,000	年間会費収入の半額
事業収入		
収入合計	A 246,352	

支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
事務用品費	84,600	84,600	用紙代 @1,250 × 4 箱=5,000 プリンターインク代 @1,300 × 5=6,500 封筒 @200(20) × 3=600 相談員ステッカー作成費 @1,000 × 5=5,000 実践家庭ステッカー作成費 @1,000 × 50=50,000 テキスト作成費 @500 × 35=17,500
人件費			
会場設営準備	26,752	26,752	@836 円 × 2 時間 × 2 名 × 8 回=26,752 円
講師謝礼	105,000	105,000	(大学教授) 生ごみ処理における微生物の役割の科学的講演 @30,000 円 × 1 回=30,000 (その他講師) 実技講習 @5,000 円 × (6 方法 × 2 回+23 年度受講者自主開催 3 回)=75,000
通信運搬費	30,000	25,000	事務担当者電話料 15,000 自家用車利用によるガソリン代・駐車料金など 10,000
支出合計	B 246,352	D 241,352	

注) 収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注) 他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成24年度「事業」提案書

(宛先)
平塚市長

	行政提案型 新規・継続
	市民提案型 新規・ 継続

団体名 土屋里地里山再生グループ

所在地 神奈川県平塚市

代表者 原 安雄

事業担当課 環境政策課

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容(事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

<p>事業名</p>	<p>里地里山の保全活動による地域環境再生と共生社会の確立(グランドワークの推進)</p>
<p>事業の目的・必要性</p> <p>なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。</p>	<p>私たちの活動フィールドがある平塚市西部丘陵地域は、市内で最も豊かな自然が残る地域であるが、農林業従事者の高齢化が進み、後継者不足により谷戸の山林・農地は40年以上も人の手が入らず放置され荒廃している。</p> <p>かつて里山は、クヌギやコナラの薪や落ち葉が、燃料や堆肥として人々に利活用され、集落の暮らしと密接に結びついていた。</p> <p>しかし、昭和30年代後半から人々の暮らしが豊かになるにつれて、家庭燃料が、薪炭から化石燃料にとって替わり、しだいに山林の間伐や下草刈り、落ち葉かきなどの里山整備や維持管理が行われなくなった。そうして放置された山林は、ゴミの不法投棄などによって荒廃し、里山の持つ多面的な機能も損なわれてしまった。急激な産業構造や生活様式の変化により、農林業従事者の人手不足・高齢化が山林の荒廃を加速させている。</p> <p>水・みどりといった環境資源を守り、市民の保健、休養、教育の場としての自然文化資源を子どもたち次世代へ引き継いでいくためには、里山の再生、保全及び活用が大切である。</p> <p>このような荒廃した山林・農地を再生し、再生農地とした後の活用方法としてブルーベリーの植栽を行いたい。ブルーベリーを利用した植栽や収穫体験等を開催することにより、市民が里山に触れ合う機会が生まれ、団体としても後継者の育成に繋がると考えられる。また、里山は再生した後も保全として継続的な管理が必要となるが、今回ブルーベリーを植栽してその管理を行うことで、その周辺の山林・農地を団体の負担が少ない形で継続的に保全することが可能となる。さらに今後、団体が公益的な活動を行う上で貴重な自主財源となることも期待できる。</p> <p>なお、ブルーベリーについては短年度で収穫が見込め、さらには水分の多い土地にも馴染み、大木になることもないため、将来的にも里山に影響を及ぼす可能性が低く、再生農地の活用に用いる農作物として適しているため、今回選択した。</p>

<p>市と協働する必要性・メリット</p> <p>なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。</p>	<p>必要性</p> <p>行政の持つ関係法令に基づく助言・指導を受けることにより、円滑な里山の再生・保全を進める事が可能となる。また、財政的にも団体が単独で行うことが難しいため、市と協働することで事業を進める事ができる。</p>
	<p>メリット</p> <p>(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) イノシシなど有害鳥獣の住処となっている荒れた山林や田畑を、保全・再生することで農業被害などを防ぐことができる。また、再生した里山で体験教室や観察会が開催されることにより、市民が里山に触れ合う機会が生まれる。</p>
	<p>(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 行政が持つ関係法令に基づく助言・指導を受けることで、事業を円滑に進める事が出来る。また、市が協働事業活動等のPRを行うことによって、市民に対して団体の信頼性を高めることができる。</p> <p>(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 里山の保全・再生をすることで有害鳥獣の被害を軽減できるとともに、良好な景観の形成、生物の多様性の確保、災害の防止、生活文化の伝令、レクリエーションの場の提供など、多面的機能を発揮することができ、その恵みは多くの市民に享受される。また、里山の再生・保全に必要なノウハウを持つ団体と協働することで、事業を円滑に進める事ができる。</p>

<p>事業のアピールポイント</p> <p>この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<p>平成23年度の協働事業を行い、活動エリアにおいて進入路の確保ができる事で、再生農地の活用が容易になった。この事は、高齢化した地域においても活動団体との連携が農地保全や里山の資源活用に先鞭を付ける事となる。</p> <p>この事は、先々には『コミュニティビジネス』にも繋がる事となり、まさしく地域再生元年となる事と思われる。私達の目指す地域づくりは、事業名にある『里地里山の保全活動による地域環境再生と共生社会の確立(グランドワークの推進)』との事につきる。</p> <p>今回植栽を行うブルーベリーは幼稚園児や小学生、中学生の収穫体験にも活用出来る為、後継者の育成に繋がると考えている。この事を継続事業とする事は、農業者への声掛けはもちろんの事、農業者団体への声掛けをも容易にし、市民の参加もしやすい事業となる。会としても、収益事業としての意味合いもあるが、会の活動が充実しなければ里山保全活動を行うことも難しくなる。活動を行う後継者を育てるためにも、ぜひ今回の協働事業を実施したい。</p>
<p>事業概要・計画</p> <p>スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p>4月 準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブルーベリー苗の購入、植栽予定地の準備等 <p>4月 植栽イベントの告知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に対してポスター・ホームページ等での広報を行う <p>4～5月頃 ブルーベリー苗の植栽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と協力して植栽を行う(15名程度を想定)。団体からは有償ボランティア5名と農業指導者が対応。 <p>6～7月 料理教室(地元の食材を利用)</p> <p>6～7月 里の生物観察会</p> <p>8～9月 夏休み農業体験会</p> <p>10～11月 キノコ狩り</p> <p>11月 里山文化祭と収穫祭</p> <p>12～1月 みかん狩り</p> <p>通年 ホームページ掲載</p> <p>通年 ブルーベリー苗の管理(草刈りなど)</p>

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) ツチヤサトサトヤマサカイグループ 土屋里地里山再生グループ		
所在地・ ホームページ	神奈川県平塚市 ホームページアドレス http://park.geocities.jp/tsutiyasatoyama/		
連絡担当者 及び連絡先	担当者 原 安雄 (役職 会長) 住所 神奈川県平塚市		
設立年月	平成21年 7月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 28人 (うち平塚市民 25人) 団体 = 団体		
活動内容・ 活動実績	<p>私たち「土屋里地里山再生グループ」は、荒れ果てた里地里山の状況に危機感を抱く地域住民や土地所有者が集まり、平成21年7月に結成された市民活動団体である。</p> <p>かつて耕作を行っていた農地は、一面背丈ほどの篠竹や下草、雑木に覆われ、田畑の区画は大きく変貌し、水路も壊れ、山際から流れ出た湧水は、農地を縦横無尽に走り、湿地と化していた。以後、現在まで会員の手作業による 雑木林の復元及び保全のための篠竹や下草刈り、間伐や倒木の除去作業、水源の整備、ため池の作成、障害者団体や平塚市料理飲食業組合連合会との協働による遊休農地で小麦の耕作(「湘南ひらつかカオリ麵」の原料となるニシノカオリとして小麦粉の提供) 小学生と保護者を対象とした里山の昆虫(アゲハ蝶)飼育講習会の実施、間伐材を利用した湿地帯への木道の設置作業、市街地住民との交流を目的とした農作物の収穫体験会の開催等様々な活動を実施してきた。</p> <p>平成21年4月、土屋・吉沢の全部(1,215ha)が神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例(平成20年4月施行、以下「県条例」という。)に基づき「土地所有者や地域住民の主体的な活動により里地里山の保全等が図られると認められる地域」として市長の申出により神奈川県知事の選定を受けた。この地域内にある当該活動団体は、土地所有者と協力して里地里山の保全等を促進するために土地所有者と5年間の活動協定を締結した。</p> <p>平成21年10月27日には、県条例に基づき、神奈川県知事から同活動協定の認定を受け、同年から神奈川県里地里山保全等促進事業(認定協定活動団体支援事業)として、神奈川県から補助金の支援を受けている。</p>		
協働事業 との関わり	新たな事業	今までの活動の拡大	今までの活動と同規模
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	会長	原 安雄	事業全体の指揮、農業指導
	副会長	山本 芳一	苗の準備、植栽、管理 その他イベント対応等
	理事	原 勝吉	苗の準備、植栽、管理 その他イベント対応等
	理事	鈴木 寛人	苗の準備、植栽、管理 その他イベント対応等
	監事	平方 珠恵	苗の準備、植栽、管理 その他イベント対応等
	事務局長	原 博志	苗の準備、植栽、管理 その他イベント対応等
顧問	上原 薫	苗の準備、植栽、管理 その他イベント対応等	

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	967,500	円
市の支出	233,500	円
団体の支出（他の収入等）	734,000	円

収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 233,500	負担金 192,500 円 報償費 41,000 円
団体の支出	25,000	会費 15,000 円（500 円×30 名） 寄付 10,000 円（5,000 円×2 名）
事業収入	0	
県補助金	709,000	神奈川県里地里山保全等促進事業に基づく補助金
収入合計	A 967,500	

支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
資材購入費	173,000	173,000	ブルーベリー苗 127,500 円（850 円×150 本） 植栽用土 45,500 円（650 円×70 俵）
人件費	41,000	41,000	有償ボランティア（会員）16,000 円（800 円×5 名×4H） 農業指導者謝礼（会員）15,000 円 企画・報告書等執筆謝礼（外部）10,000 円
事務費	10,000	10,000	プリンターインク、紙等
交流会費	16,500	0	弁当（550 円×30 名） 団体の支出から充当
通信費	10,000	9,500	電話、切手、ハガキ等 一部を団体の支出から充当
雑費・予備費	8,000	0	消耗品等 団体の支出から充当
里山保全・再生活動費	609,000	0	里山保全・再生のための活動費用（以下内訳） 事務費 90,000 円 旅費交通費 60,000 円 通信費 40,000 円 消耗品費 199,000 円 有償ボランティア謝礼 120,000 円 講師謝礼 100,000 円 県補助金から支出
イベント費	100,000	0	体験教室等の開催 県補助金から支出
支出合計	B 967,500	D 233,500	

注）収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注）他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成24年度「事業」提案書

(宛先)

平塚市長

	行政提案型 新規・継続
	市民提案型 新規・ 継続

団 体 名 ひらつか防災まちづくりの会

所 在 地 平塚市

代 表 者 篠原 憲一

事業担当課 防災危機管理課

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容(事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	地域防災力の向上へ向けた支援事業の実施 地域防災活動者育成研修・防災ニュース・防災懇談会	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	地域の防災力を少しでも向上できるように、地域で防災の要となる人材を養成する。その人が地域で地域コミュニティづくりや、自主防災の訓練など運営できるよう研修を行う。 防災懇談会を通じて他の地域がどのような活動を行っているか場の提供、また、防災ニュースを通じて地域防災に役立つ情報を提供する。	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	地域防災の進捗が図る為の情報の提供 自治会や自主防災会は、有効な防災訓練や意識啓発の方法が知りたいと求めている。平塚市はホームページ等で情報を提供しているが、現状ではパソコンに堪能でなく情報を得られない地域の方も多い。 市民は市役所の指導に期待をかけており、役所との信頼関係はあるが、いろいろな知識や技術・情報を提供できる市民活動団体やひとがあるにも関わらず、その存在さえ知らない方も多い。
	メリット	(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) 当会の会員は、地域防災を進めたいと願う市民のほか防災関連の学者・教師・建築士・無縁に卓越した者等 バラエティに富んでいる。これら専門分野のメンバーにより提供できるものは大きい。地域から出された課題・疑問点について、学術的な説明も可能である。 過去8年あまりの活動の中で当会メンバーが学び身に付けた防災に関する知識・調査で得たものや作成物を地域還元することも可能。 地域のお手伝いできる市民団体を紹介することもできる。
		(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 行政が持っている情報(自主防災の組織の強いところ、弱いところ、進んでいるところなど)を得て、防災ニュースに展開できる。 市との協働事業ということで自治会の信頼が得られ、地域取材等にも応じていただきやすい。
		(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 当会の会員には防災に関連した学者や先生たちがいるので、地域から出された課題・疑問点について、学術的説明ができる。また当会のメンバーが学んだ防災に対する知識を提供できる。

<p>事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<p>地域防災の進捗を図る。 単独あるいは連合で自主防災会のまち歩きや、訓練、避難所設営等の企画運営ができる人材を増やしていく。 防災懇談会での意見交換、防災ニュース等で地域の方々の必要とする情報の提供が可能。 取材等で地域の方々に接することにより、市民目線で考えていくことが可能になる。</p>
<p>事業概要・計画 スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p>講座関連 募集案内:危機管理課 企画等の担当:防災まちづくりの会</p> <p>1. 地域防災活動者育成研修(初級) (対象:200名程度)</p> <p>第1回:6月 講話[被災地に関する講演 NPOクラス] 第1回及び4回のイメージ打ち合わせ:2h×4名×4日 当日 3h×4人×1日</p> <p>第2回:7月 実技訓練(防災危機管理課担当)</p> <p>第3回:9月 実技訓練(防災危機管理課担当)</p> <p>第4回:10月 ワークショップ(午前/午後:まちづくりの会担当) 企画準備:3h×3名×2日 ・当日:3h×10名×2回 アンケート作成集計+課題抽出:4h×2名×2日</p> <p>2. 地域防災活動者育成研修(中級) (対象:希望者40名程度)</p> <p>第1回:11月 講話[防災についての総合講義 荏本教授] ・打ち合わせ(4回全体の流れを含む) 3h×4名×3日</p> <p>第2回:12月 避難所訓練WS [NPOによる指導] (だるま塾協力) ・準備:3h×4名×3日 ・当日:4h×7名</p> <p>第3回:1月 ワークショップ [NPOによる指導] (だるま塾協力) ・準備とまとめ:3h×4名×3日 ・当日:4h×7名</p> <p>第4回:2月 講話[まちあるき総評 大学教授] まとめ(アンケート) ・準備:3h×4名×3日/アンケート作成集計:4h×1名×2日 ・当日:3h×4名×1日</p> <p>3. 地域への防災ニュース発行 ニュース発行 2回予定 4月~ 地域・行政インタビュー/寄稿依頼 取材編集等への協力呼びかけ 協力者募集:企画・インタビュー・寄稿・編集等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画会議 :3h×4名×2日 …24h ・取材調査 :2h×1名×2地域 …4h ・記事作成 :2h×8記事×1日 …16h ・編集レイアウト :4h×4名×1日 …16h ・印刷 :2h×3名×1日 …6h(66h×2回) <p>4. 防災懇談会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災懇談会 企画 3h×4人×1日 ・マンション自主防災会懇談 企画 3h×4人×1日 ・当日 3h×4人×2回 ・アンケートまとめ 2h×1人×2日 <p>案内はがき送付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はがき代 懇談会 200通 +マンション50通

2 企画提案団体の概要

体名	(フリガナ) ヒラツカ防災まちづくりの会		
	ひらつか防災まちづくりの会		
所在地・ホームページ	所在地 平塚市 ホームページアドレス http://www.geocities.jp/hiratsukabousaimachidukuri/		
連絡担当者及び連絡先	担当者 山田 美智子 (役職 会計) 住所 平塚市		
設立年月	2003年 8月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 3.1人 (うち平塚市民 2.1人) 団体 = 団体		
活動内容・活動実績	行政との協働 行政提案型事業 21年度、22年度「防災フォーラム」 市民提案型事業 23年度「地域防災活動者研修と防災ニュース発行」 「県相模湾文化ネットワーク事業」の『相模湾アカデミー』に参加 関東大震災爪あと検証・まち歩き実施。 地域自主防災会の防災訓練や、まちあるきお手伝い 3・11東日本大震災を受けて緊急防災懇談会を実施。 3・11東日本大震災による平塚の被害等を調査・展示等で市民に知らせる。		
協働事業との関わり	新たな事業	今までの活動の拡大	今までの活動と同規模
活動体制 活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	代表	篠原 憲一	代表 まとめ役(講話;平塚の被害・地盤・関東大震災記念碑跡調査)
	事務局長	原園 信夫	研修企画・事業推進(講話;地域関連情報提供・他団体との連携)
	事務局	添田 睦子	防災ニュース推進の為の取材手配等(講話;地域関連情報提供・紙芝居・クイズ劇)
	会計	山田 美智子	行政窓口・会計(講話;地域関連情報提供・情報収集・広報)
	会員	相原 延光	企画・講演・調査・情報提供・ニュース記事作成・編集・助言(高校教諭)
	会員	荏本 孝久	企画・講演・情報提供・助言(神奈川大学工学部教授)
	会員	坂本 著法	適宜 取材・編集・津波に関する話・その他(ひらつか自治体財政研究会会員)
	会員	凍田 裕一	適宜 取材・編集・情報提供・その他(防災士・無線士)
	会員	米澤 正己	適宜 取材・情報知識提供・編集その他(建築士)

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	689,100円
市の支出	659,100円
団体の支出（他の収入等）	30,000円

収入

金額単位：円

項 目	予算額	内 容
市の支出	C 659,100	
団体の支出	30,000	
事業収入		
収入合計	A 689,100	

支出

項 目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
謝礼	150,000	150,000	講師指導料(交通費含む) ・初級研修 NPOクラス(被災地に関する講演) @40,000 × 1人 ・中級研修 大学教授(防災に関する総合講義) @40,000 × 1人 NPO @15000 × 2名 大学教授(まちあるき総評) @40,000 × 1人
人件費	116,000	116,000	・初級研修 WS ファシリテーター @1000円 × 3h × 10名 × 2回 ・中級研修 HUG ファシリテーター @1000円 × 4h × 7名 ・中級研修 WS ファシリテーター @1000円 × 4h × 7名
人件費 & 委託料	340,800	340,800	アンケート集計等 初級研修 第1回宿題アンケート作成まとめ @800円 × 4h × 2名 × 2日 小計 12,800円 中級研修 第4回アンケート作成まとめ @800円 × 4h × 1名 × 2日 小計 6,400円 防災懇談会アンケートまとめ @800円 × 2h × 1名 × 2日 小計 3,200円 企画準備 初級研修 第1回打ち合わせ準備 @800円 × 2h × 4名 × 4日 第4回ワークショップ準備 @800円 × 3h × 3名 × 2日 小計 40,000円 中級研修 第1回準備及び全体企画 @800円 × 3h × 4名 × 3日 第2,3,4回 @800円 × 3h × 4名 × 3日 × 3回 小計 115,200円 当日対応 初級研修第1回 @800円 × 3h × 4人 × 1日 中級研修第4回 @800円 × 3h × 4名 × 1日 小計 19,200円 防災ニュース発行 (打ち合わせ・取材・記事・編集構成) @800円 × 66h × 2回 計 105,600円 防災懇談会 企画・運営 @800円 × 3h × 4名 × 4日 計 38,400円

事務用品	16,800	16,800	印刷用紙 A4 @400 円 × 10 枚 印刷用紙 A3 @900 円 × 10 枚 (印刷はなるべく市内で) プリンタインク代 @3,800 円 × 1
食糧費	30,000		他団体・講師との意見交換会懇談等 30,000 会費から
印刷費	5,000	5,000	打合せ資料印刷代
通信費	12,500	12,500	・行政ポストを利用 ・案内状(はがき) @50 円 × 250 枚
旅費交通費	18,000	18,000	近隣市 打ち合わせ 1500 円 × 4 回 × 3 名
支出合計	B 689,100	D 659,100	

注) 収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注) 他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

23年 9月 28日

平成24年度「事業」提案書

	行政提案型 新規 継続
	市民提案型 新規・継続

(宛先)
平塚市長

団体名 ひらつか応急手当協力会

所在地 平塚市

代表者 小川 弘子

事業担当課 消防救急課

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

事業名	応急手当普及・啓発事業 (応急手当講習会等の実施)	
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	平塚市が開催する普通救命講習会等に応急手当普及員として協力し、応急手当の普及・啓発を図り、自己の技術の向上とともに平塚市民が安全に暮せる安心な町づくりを目的とする。	
市と協働する必要性・メリット なぜ、協働で実施したいのか、市民、団体、市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	救急講習回数の増加や受講者の増加に対応できるようになり、応急手当の普及・啓発が図れる。
	メリット	(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) 市民から講習会の要望が複数あった場合に対応できるようになり、より多くの市民が救急講習を受講できる。
		(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 行政が救急講習受講者との連絡・調整を行うことで、団体の信用や信頼性が確保できる。また、技術指導等を行ってもらうことで、スキルアップが図れる。
		(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 中学生や高校生に団体が持つノウハウを活用して対応できることや市民から講習会が重複した場合に対応できるようになる。

<p>事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。</p>	<p>応急手当普及員及び応急手当指導員の資格を有する者が、普通救命講習会や応急手当講習会を行政と実施することにより、応急手当普及員の増加や受講者の増加が見込まれ平塚市の安全・安心なまちづくりに期待が出来る。</p>
<p>事業概要・計画 スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月9日に開催される普通救命講習会に参加。 ・各事業所や学校等から講習会の依頼があった場合に行政の調整により参加する。 ・市が主催するイベント等に応急手当普及員として参加する。 ・災害等があった場合に救護・救命活動を行う。
<p>役割分担 協働事業は役割分担が重要です。団体の役割、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会やイベント等での応急手当の普及・啓発活動 ・災害時における救護・救命活動 <hr/> <p>(行政)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体員への技術指導 ・講習会やイベント等参加に係る連絡・調整
<p>他の団体との連携 この事業に関し、他団体等と実績や予定があれば記入。</p>	<p>他の団体との連携実績はありません。</p>
<p>成果目標 (目標値) 成果目標を記入してください。数値で表せる場合は目標値を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会やイベント等に一ヶ月2～3回参加し、応急手当の技術の向上を図りたい。 ・救急講習会の増加及び受講者の増加を図る。 <p>(成果目標値：)</p>
<p>関連法令等 事業実施に関連した法令等があれば記入してください。</p>	<p>応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱</p> <p>ご不明の場合は、事業担当課へご確認ください。</p>
<p>事業実施以降の方向性</p>	<p>1 . 次年度以降も双方で実施(提案型協働事業 提案型以外)</p> <p>2 . 団体が単独で実施 3 . 行政が単独で実施</p> <p>4 . 事業は今年度のみ予定 5 . その他 ()</p>

2 企画提案団体の概要

団体名	(フリガナ) ヒラツカオウキュウテアテキョウリョクカイ		
	ひらつか応急手当協力会		
所在地・ ホームページ	平塚市 ホームページアドレス http://		
連絡担当者 及び連絡先	担当者 小川 弘子 (役職 代表) 住所 平塚市		
設立年月	平成 23 年 1 月 (法人格取得年月 年 月)		
会員の状況	個人 = 9 人 (うち平塚市民 9 人) 団体 = 団体		
活動内容・ 活動実績	平塚市が開催している救急講習会に協力し、応急手当の普及・啓発を図る。 ・平成 21 年度から毎月 9 日の普通救命講習会に参加		
協働事業 との関わり	新たな事業	今までの活動の拡大	今までの活動と同規模
活動体制 活動に携わる メンバーを記 入してくださ い。 10名以上の 場合は、主なメ ンバーを記入 してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	代表	小川 弘子	連絡員及び応急手当の普及員
	副代表	山崎 美紀	応急手当の普及員
	会計	磯村 則子	応急手当の普及員
		鈴川 裕子	応急手当の普及員
		鈴木 久恵	応急手当の普及員
		宇佐美 珠枝	応急手当の普及員
		大西 芳子	応急手当の普及員
		梶山 富子	応急手当の普及員
		渡辺 豪	応急手当の普及員

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	316,800円
市の支出	268,200円
団体の支出（他の収入等）	48,600円

収入

金額単位：円

項 目	予算額	内 容
市の支出	C 268,200	
団体の支出	48,600	講習会時のお茶代として個人で購入している。
事業収入		
収入合計	A 316,800	

支出

項 目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
被服費	106,200	106,200	夏用シャツ（ネーム入り）27,900円（3,100×9） 1枚単価2,100円 団体ネーム入1,000円 冬用シャツ（ネーム入り）30,600円（3,400×9） 1枚単価2,400円 団体ネーム入1,000円 ブルゾン（ネーム入り）47,700円（5,300×9） 1枚単価3,800円 団体ネーム入1,500円 （受講者に普及員と周知するため） （普及員の意識向上のため）
交通費	162,000	162,000	講習会場までの往復500円×9人×3回×12カ月 （講習は基本3時間、1人の会員が1ヶ月3回程度出席する予定）
食糧費	48,600	0	講習会時のお茶代150円×9人×3回×12カ月
支出合計	B 316,800	D 268,200	

注) 収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注) 他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。